

Gentran:Server® for Windows®

アドバンスド データ
ディストリビューション
ゲートウェイ設定 ガイド
バージョン 5.0

Sterling Commerce
An IBM Company

著作権に関する表示 ¶

Gentran:Server for Windows

© Copyright 1995 - 2004
Sterling Commerce, Inc.
ALL RIGHTS RESERVED

スターリング コマース ソフトウェア

営業秘密に関する表示

GENTRAN:SERVER FOR WINDOWS ソフトウェア (「スターリング コマース ソフトウェア」) は、米国スターリング コマース社、その関連企業またはそのライセンスの機密と営業秘密を有する財産であり、プロダクト使用契約の条件に基づいて提供されます。事前の書面による許可のない複製または開示は禁じられています。権利は制限されています。

本資料、本資料で述べられたスターリング コマース ソフトウェア、およびそれらに含まれる情報とノウハウは、スターリング コマース、その関連企業またはそのライセンスの専有的な、秘密の、財産的価値を有する営業秘密であり、許可されていない目的のために使用することおよび適正なスターリング コマースからの事前の書面による承認を受けることなく第三者に開示することは禁じられています。本資料と本資料で述べられたスターリング コマース ソフトウェアは、その複製、変更および使用を禁止または規制する条項が規定されたプロダクト使用契約に基づいて提供されます。複製を許可された場合には、複製が部分的であるか全体的であるかを問わず、その複製物にこの営業秘密表示とスターリングコマースの著作権表示を表示するものとします。

FAR に規定されることにより米国の政府機関、政府の委託業者又はさらにその者の委託業者に対して本資料が提供された場合は、Title 48 CFR 52.227-19 による制限付きの権利として提供されます。また、DFAR に規定されることにより米国の政府機関、政府の委託業者又はさらにその者の委託業者に対して本資料とスターリング コマース ソフトウェアが提供された場合は、商業用ソフトウェアと商業用ソフトウェア資料に関する Title 48 CFR 227-7202 の記載に基づくスターリング コマースの一般的な実施許諾契約に基づいて提供されます。

これらの条件の準拠法は、米国オハイオ州法 (法の抵触に関する規定を除く) が適用されます。締結済みの契約に基づいてスターリング コマース ソフトウェアを使用している場合には、これらの条件は当該締結済み契約に優先するものではなく、また、これを修正するものでもありません。

本資料に記載されている製品名は、該当各社の商標または登録商標である場合があります。Gentran 及び Gentran:Server はスターリングコマースの登録商標です。

サードパーティソフトウェア

スターリング コマース ソフトウェアの一部には、サードパーティ (「サードパーティ ライセンサ」) から提供された製品 (「サードパーティソフトウェア」) が含まれる場合や、サードパーティソフトウェアと同一の記録媒体で配布される場合があります。

保証の放棄

本資料と本資料で述べられたスターリング コマース ソフトウェアは「現状のもの」として、またはスターリング コマースのプロダクト使用契約で規定された「限定保証」とともに提供されるものとします。「限定保証」以外には、商品性および特定目的への適合性を含みいかなる明示的および黙示的保証も行われぬものとします。スターリングコマースは適宜本表示を改訂し、又はその内容を変更できるものとし、その改訂又は変更をいかなる個人又は法人に対しても通知する義務を負わないものとします。

サードパーティソフトウェアは、商品性の黙示的保証および特定目的への適合性を含めて (ただしこれらに限定されない)、いかなる保証ならびに明示的および黙示的保証も伴わずに「現状のもの」として提供され、いかなる保証も行われません。また、米国国内に居住するか、本ソフトウェアを米国国内で使用している場合、所有権または権利の非侵害に関する明示的および黙示的保証は行われません。

目次

本書について

- ▶ はじめに ii
- ▶ 本書の内容 iii
- ▶ オンライン ヘルプ iv
- ▶ サポート情報 v

アドバンスド データ ディストリビューションの概要

- ▶ 概要 1-2
- ▶ アドバンスド データ ディストリビューション 1-4

コミュニケーションズの構成

- ▶ はじめに 2-2
- ▶ Gentran:Server コミュニケーションズのプロパティ 2-3
- ▶ メールボックス ゲートウェイのプロパティ 2-13
- ▶ メールボックス プロパティ 2-39
- ▶ 構成処理 2-44
- ▶ コミュニケーションズ ゲートウェイの構成方法 2-45
- ▶ コミュニケーションズ サービスの開始方法 2-54
- ▶ コミュニケーションズ サービスの停止方法 2-55
- ▶ アドバンスド データ ディストリビューション メールボックスの作成方法 2-57
- ▶ サンプルセッション 2-66
- ▶ メールボックス プロパティの修正方法 2-69

エラー メッセージ

- ▶ 概要 A-2
- ▶ アドバンスド データ ディストリビューションのメッセージ A-3

OFTP の操作

- ▶ 概要 B-2
- ▶ SSID および SFID コマンドの定義 B-3
- ▶ パートナーの定義の作成方法 (OFTP リモート VAN ユーザー) B-6
- ▶ 仮想ファイル名およびデータ形式の定義 B-8



本書について

目次

▶ はじめに	ii
▶ 本書の内容	iii
▶ オンライン ヘルプ	iv
▶ サポート情報	v

はじめに

概要

このマニュアルでは、次の作業を行う際に必要な手順について説明します。

- ▶ アドバンスド データ ディストリビューション用のコミュニケーションズ ゲートウェイの構成
- ▶ トレーディング パートナー用のアドバンスド データ ディストリビューション メールボックスの作成

本書の対象読者

このマニュアルは、以下の読者を対象としています。

- ▶ Gentran:Server システム管理者
- ▶ Gentran:Server for Windows の上級ユーザー

必要な知識

このソフトウェアを使用する読者は、以下について習熟している必要があります。

- ▶ Microsoft® Windows
 - ▶ Gentran:Server for Windows
 - ▶ コミュニケーションズ プロトコル
-

本書の内容

はじめに

このマニュアルでは、アドバンスド データ ディストリビューション コミュニケーションズを構成するために必要な作業について説明します。

章の構成

このマニュアルの章構成は次のとおりです。各章の概要を説明します。

- ▶ 「[本書について](#)」では、このマニュアルの内容および構成について説明します。
- ▶ 「[アドバンスド データ ディストリビューションの概要](#)」では、アドバンスド データ ディストリビューションに関する概要を説明します。
- ▶ 「[コミュニケーションズの構成](#)」では、アドバンスド データ ディストリビューション コミュニケーションズを構成する手順について説明します。また、アドバンスド データ ディストリビューション メールボックスを構成する手順についても説明します。
- ▶ 「[エラー メッセージ](#)」では、ゲートウェイのエラー メッセージとその処置について説明します。
- ▶ 「[OFTP の操作](#)」では、OFTP (Odette ファイル転送プロトコル) を使用する際の注意点について説明します。

関連トピック

『[スクリプト言語 リファレンス ガイド](#)』では、Gentran:Server for Windows コミュニケーションズ サブシステム用に付属しているスクリプト言語について説明します。

参照

詳細については、『[スクリプト言語 リファレンス ガイド](#)』の「スクリプト言語 リファレンス」の章を参照してください。

オンライン ヘルプ

はじめに

このマニュアルの内容の大半がオンライン ヘルプ システムにも記載されています。このマニュアルに記載されている全ダイアログ ボックス要素の定義、処理の詳細情報、操作手順の説明は、すべてオンライン ヘルプにも含まれています。

詳細説明

メールボックス サーバー ゲートウェイに関する詳細説明を表示するには、詳細説明が含まれているコンポーネントを画面に表示します。**F1** キーを押すと、各部と機能の一覧表が表示されます。

サポート情報

はじめに

スターリング コマース社では、Gentran:Server ソフトウェアに関する質問や問題についてお答えするため、熟練した製品サポート担当者によるサポートを提供しています。

メモ

Gentran:Server のカスタマ サポートは、スターリング コマース社以外の製品 (SQL Server、Oracle など) のサポートは行っていません。但し、他社の製品を Gentran:Server と併用できるように構成するサポートは提供しています。

電話番号

ご利用になるサポート電話番号は、『インストール準備 カード』を参照してください。

サポートに連絡する前に

迅速なサポートをご提供するため、以下の事項についてご協力をお願いします。

- まず、発生した問題を再現してみて、イベントの正確な順序を記録してください。
- 製品サポートへのお問い合わせの際には、下記の情報をご用意ください。

情報	説明
ユーザー情報	会社名、氏名、電話番号および内線番号、およびケース番号 (以前に報告された問題を照会する場合)。
システム構成	Gentran:Server バージョン (およびインストールされているサービスパック)、プライマリ Gentran システム コントローラおよび問題が発生しているすべてのコンピュータの情報。Windows オペレーティングシステムのバージョン、搭載メモリ、有効ディスク容量、データベースバージョン、Microsoft Data Access (MDAC) のバージョン、および Internet Explorer のバージョン。 ハードウェア、ソフトウェア、およびシステムの構成に対して加えた最近の変更も記入してください。
システム データ ストア	どのコンピュータがシステム データ ストア内にフォルダを格納しているのか。 (次のページへ続く)

情報	説明
エラー メッセージ	表示されたエラー メッセージの正確な語句表現とソフトウェアでのエラーが発生した時点、およびログファイルも記録してください。
試みた解決策	問題の解決を試みた際の手順とその結果の記録、推定される問題の発生回数と問題を再生することができるかどうかを報告してください。

スターリング コマース社 Support Web Site (英語) へのアクセス

スターリング コマース社 Customer Support Web Site は Gentran:Server for Windows のサポートに関する以下の重要な情報が記載されています。

- ▶ サポート サービスの範囲
- ▶ カスタマ サポート ポリシー
- ▶ 優先コール
- ▶ カスタマ サポートの電話番号一覧
- ▶ Support on Demand ケースの作成方法
- ▶ Support on Demand ケースのステータスの確認方法
- ▶ Support on Demand ケースへの情報追加の方法

Customer Support Web Site は常にアップデートされており、スターリング コマース製品のユーザーの皆様にご利用いただけます。この Web サイトには、最新の製品アップデート情報が記載されています。製品情報に関する重要な情報源としてご活用ください。

参照

Customer Support World Wide Web Site へのアクセス方法に関する情報については、『インストール準備 カード』を参照してください。

マニュアル

Customer Support Web Site にはドキュメント ライブラリがあり、Gentran:Server for Windows マニュアル セットがすべて含まれています。随時このライブラリから製品マニュアルを PDF フォーマットでダウンロードできます。

アドバンスド データ ディストリビューションの概要

目次

▶ 概要	2
▶ アドバンスド データ ディストリビューション	4

概要

本章の内容

この章では、アドバンスド データ ディストリビューションを使用したコミュニケーションズ ゲートウェイの概要について説明します。

ゲートウェイとは

ゲートウェイは、2 者間のメッセージの伝送を制御するソフトウェア コンポーネントです。ゲートウェイは、送信者と受信者の間のメッセージを、適切なプロトコルを使って転送する役割を果たします。

メッセージの転送に使用されるゲートウェイのプロパティは、ユーザーによって定義される必要があります。

メールボックスとは

メールボックスには、メール受信者間で転送されるメッセージが格納されます。手紙を入れる郵便ポストのように、メッセージは宛先のアドレスへ転送されるまでメールボックスの中に保管されます。

Gentran:Server メールボックスには、次の 2 種類があります。

- ▶ 非ゲートウェイ メールボックス
- ▶ ゲートウェイ メールボックス

非ゲートウェイ メールボックス

Gentran:Server をインストールすると、既定では、Gentran Application メールボックスという非ゲートウェイ メールボックスが作成されます。このメールボックスは、Gentran:Server for Windows とトレーディング パートナーとの間で転送されるメッセージを、メールボックス サーバーに保管しておくために使用します。

ゲートウェイ メールボックス

ゲートウェイ メールボックスは、ユーザーが作成します。作成されたゲートウェイ メールボックスは、ゲートウェイと関連付けられます。各ゲートウェイ メールボックスに定義するプロパティによって、トレーディング パートナーへのメッセージの転送方法が決定されます。

関連トピック

メールボックス サーバー システムについての詳細は、『Gentran:Server[®] for Windows[®] コミュニケーションズ ユーザー ガイド』の「コミュニケーションズの概要」を参照してください。

(次のページへ続く)

関連トピック

『スクリプト言語 リファレンス ガイド』では、Gentran:Server for Windows コミュニケーションズ サブシステム用に付属しているスクリプト言語について説明します。

参照

詳細については、『スクリプト言語 リファレンス ガイド』の「スクリプト言語リファレンス」の章を参照してください。

アドバンスド データ ディストリビューション

はじめに

メールボックス サーバーのアドバンスド データ ディストリビューションでは、トレーディング パートナーがコミュニケーション セッションを開始することができます。標準的なコミュニケーション セッションでは、Gentran:Server から VAN やトレーディング パートナーに交信します。これに対し、アドバンスド データ ディストリビューションは受動的で、トレーディング パートナーからの交信を待ちます。

目的

アドバンスド データ ディストリビューションの目的は、トレーディング パートナーが Gentran:Server システムを呼び出し、データの出し入れを行えるようにすることにあります。

コミュニケーション ズ スクリプト

コミュニケーションズ プロセスは、メールボックス サーバーと、スターリング コマース社が提供するコミュニケーションズ スクリプト スイートによって制御されます。Gentran:Server for Windows の一部として配布される基本メールボックス サーバーには、トレーディング パートナーとの通信を行う機能が用意されています。

コンテンツ タイプ とサブタイプ

コンテンツ タイプとサブタイプの値は、伝送する情報のインターネット メディア タイプを示すために使用します。コンテンツ タイプにより、データの表示に使用する機構が決まります。

[システム構成] ダイアログ ボックスの [メールボックス] タブで値を選択することにより、実行するアクションをデータの種類ごとに変えることができます。

例

Application/EDI は、タイプがアプリケーション プログラムで、サブタイプが EDI (電子データ交換データ) であることを示します。Gentran:Server では、コンテンツ タイプおよびサブタイプが Application/EDI であるメッセージを受信すると、そのメッセージに対して GDW_Process_MBFile コマンドが実行されます。

メモ

未定義のコンテンツ タイプが含まれるメッセージは、そのコンテンツ タイプが定義されるまで Gentran Application メールボックスに保管されます。

参照

[システム構成] ダイアログ ボックスの [メールボックス] タブについては、『Gentran:Server 管理 ガイド』を参照してください。

(次のページへ続く)

**指定可能な
コンテンツ タイプ**

Gentran:Server では、次のコンテンツ タイプとサブタイプの組み合わせを指定できるように既定されています。

- ▶ Application/EDI
- ▶ Application/Import
- ▶ Application/Document-EDI

ゲートウェイの構成

メッセージの転送を開始するには、まず Gentran:Server コミュニケーションズ ゲートウェイのアドバンスド データ ディストリビューション プロパティを構成する必要があります。ゲートウェイの構成では、以下を定義します。

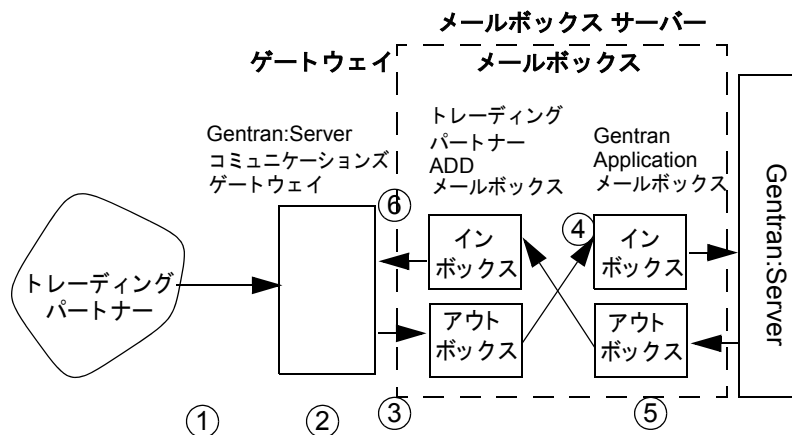
- ▶ トレーディング パートナーとの通信に使用しているモデムまたはネットワークカードを制御するコミュニケーションズ コントローラ
- ▶ このゲートウェイで使用するモデムまたはネットワーク カードを含む共有デバイス
- ▶ このゲートウェイ経由で転送されるメッセージに割り当てる添付コンテンツ タイプの既定値
- ▶ ゲートウェイで使用するアドバンスド データ ディストリビューション スクリプト
- ▶ ゲートウェイを使用するトレーディング パートナーのメールボックス名およびパスワード

参照

アドバンスド データ ディストリビューション プロパティの構成については、このマニュアルの「[コミュニケーションズの構成](#)」の章にある「[コミュニケーションズ ゲートウェイの構成方法](#)」を参照してください。

メッセージの流れを示す図

次の図は、アドバンスド データ ディストリビューションを使用した場合のメッセージの流れを示します。図中の番号は、この項の[メッセージの流れの説明表](#)の各段階と対応しています。



(次のページへ続く)

メッセージの流れの説明

次の表は、アドバンスド データ ディストリビューションを使用した場合のメッセージの流れの説明です。

段階	説明
1	トレーディング パートナーがコミュニケーションズ セッションを開始します。トレーディング パートナーは、セッションの間にメッセージを送信、受信、または送受信することができます。
2	Gentran:Server コミュニケーションズ ゲートウェイによってアドバンスド データ ディストリビューションが開始され、このゲートウェイと関連付けられているアドバンスド データ ディストリビューション スクリプトが実行されます。
3	メールボックス サーバーに送信されたメッセージは、Gentran:Server コミュニケーションズ ゲートウェイによって取り出され、トレーディング パートナーの [アウト ボックス] にルーティングされます。
4	メールボックス サーバーによって、メッセージがトレーディング パートナーの [アウト ボックス] から Gentran Application メールボックスの [イン ボックス] に転送されます。
5	このトレーディング パートナーに送信されたメッセージは、すべて Gentran Application の [アウト ボックス] からトレーディング パートナーの [イン ボックス] に移されます。
6	Gentran:Server コミュニケーションズ ゲートウェイによって、トレーディング パートナーの [イン ボックス] に格納されているメッセージが取り出され、トレーディング パートナーのコンピュータに転送されます。

コミュニケーションズの構成

目次

概要	2
▶ はじめに	2
▶ Gentran:Server コミュニケーションズのプロパティ	3
▶ メールボックス ゲートウェイのプロパティ	13
▶ メールボックス プロパティ	39
手順	44
▶ 構成処理	44
▶ コミュニケーションズ ゲートウェイの構成方法	45
▶ コミュニケーションズ サービスの開始方法	54
▶ コミュニケーションズ サービスの停止方法	55
▶ アドバンスド データ ディストリビューション メールボックスの作成方法	57
▶ サンプル セッション	66
▶ メールボックス プロパティの修正方法	69

概要

はじめに

本章の内容

この章では、アドバンスド データ ディストリビューションを構成するために必要な作業について説明します。

主な用語

次の表は、本章で使用される主な用語の説明です。

用語	説明
共有	コミュニケーションズ デバイスの集まり。
コミュニケーションズ コントローラ	コミュニケーションズ セッションを制御するコンピュータ。
コミュニケーションズ ゲートウェイ	2 台のコンピュータ間のコミュニケーションを可能にするソフトウェア、またはそのようなソフトウェアが動作しているコンピュータ。
アドバンスド データ ディストリビューション	トレーディング パートナーによるコミュニケーションズ セッションの開始を可能にします。標準的なコミュニケーションズ セッションでは、Gentran:Server から VAN やトレーディング パートナーに交信します。これに対し、アドバンスド データ ディストリビューションは受動的で、トレーディング パートナーからの交信を待ちます。
メールボックス	メッセージを格納するための、1 つまたは複数のフォルダ。

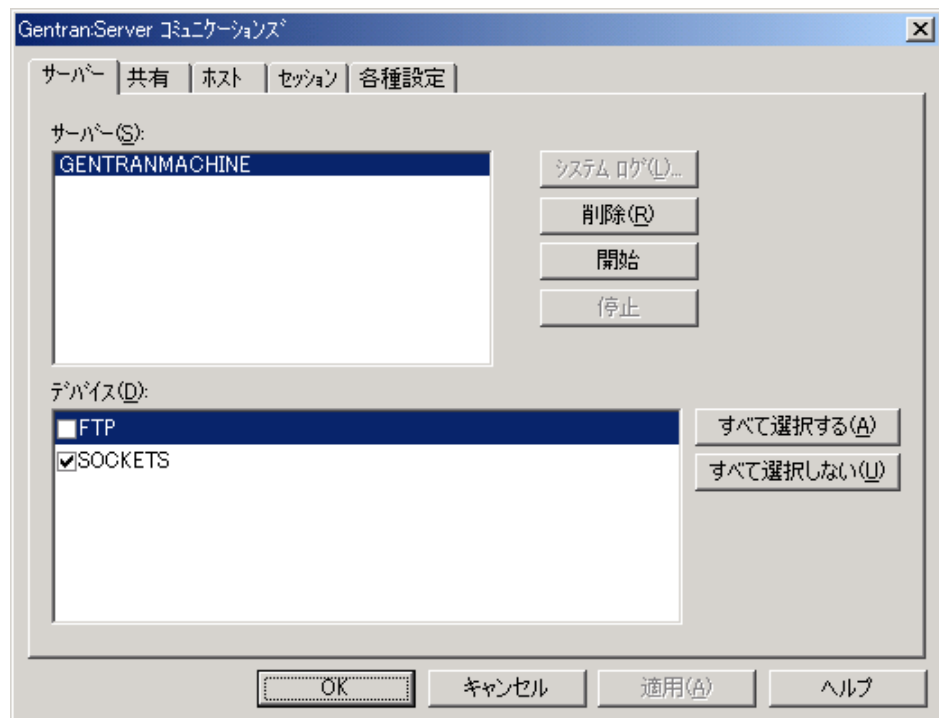
Gentran:Server コミュニケーションズのプロパティ

はじめに

[Gentran:Server コミュニケーションズ] ダイアログボックスは、トレーディングパートナーとのコミュニケーションを構成するために使用します。

[サーバー] タブ

次の図に、[Gentran:Server コミュニケーションズ] ダイアログボックスの [サーバー] タブの例を示します。



(次のページへ続く)

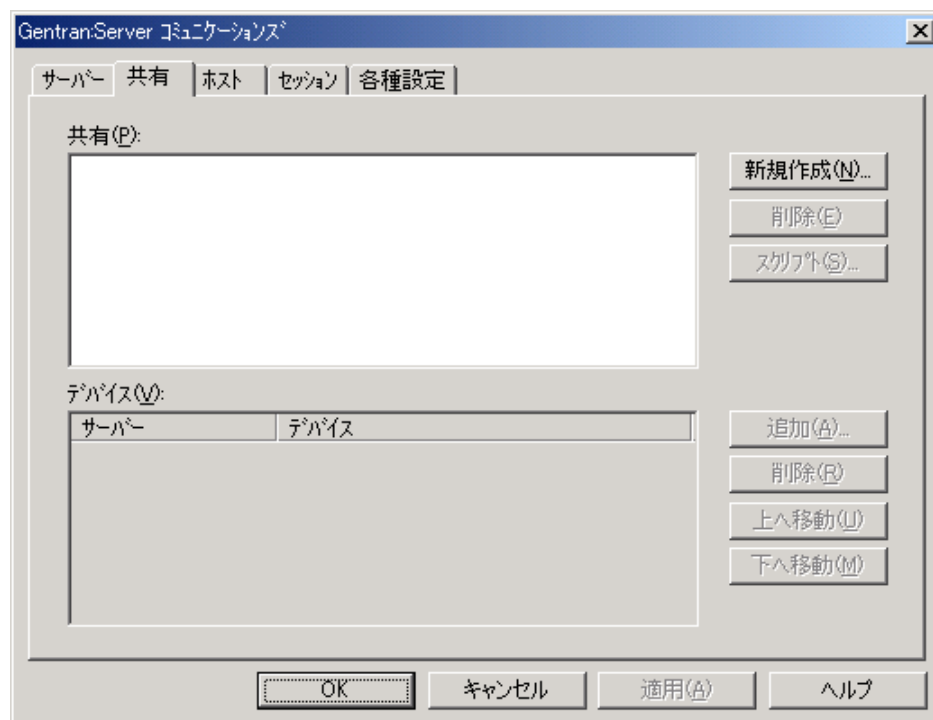
各部と機能

次の表に、[Gentran:Server コミュニケーションズ] ダイアログ ボックスの [サーバー] タブの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
サーバー	メールボックス サーバーで利用可能なコミュニケーションズ コントローラの一覧を表示します。メールボックス サーバー システムに、複数のコミュニケーションズ コントローラが用意されている場合もあります。
デバイス	メールボックス サーバーで使用可能なデバイスの一覧が表示されます。このリストに表示されているデバイスは、それぞれのコミュニケーションズ コントローラ用のデバイスです。
システム ログ	特定のコミュニケーションズ コントローラのログ情報を表示します。
削除	選択したコミュニケーションズ コントローラをリストから削除します。
開始	選択したコントローラ上のコミュニケーションズ サービスを開始します。
停止	選択したコントローラ上のコミュニケーションズ サービスを停止します。
すべて選択 する	選択したコントローラについて、すべてのデバイスを選択します。
すべて選択 しない	選択したコントローラについて、すべてのデバイスを選択解除します。
OK	変更を保存して、ダイアログ ボックスを閉じます。
キャンセル	変更を取り消して、ダイアログ ボックスを閉じます。
適用	変更が適用されます。
ヘルプ	オンライン ヘルプを表示します。

[共有] タブ

次の図に、[Gentran:Server コミュニケーションズ] ダイアログ ボックスの [共有] タブの例を示します。



各部と機能

次の表に、[Gentran:Server コミュニケーションズ] ダイアログ ボックスの [共有] タブの各部分とその機能をまとめます。

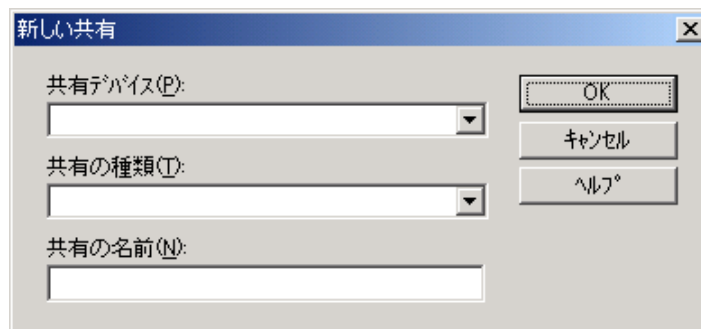
各部	機能
共有	ユーザー定義の共有デバイスのリストを表示します。
デバイス	特定の共有に割り当てられているデバイスのリストを表示します。
新規作成	新しい共有デバイスを追加します。
削除	共有デバイスを削除します。
スクリプト	コミュニケーションズ スクリプトを選択して編集する場合に使用します。このボタンは、ホストのみまたはホストとリモートの共有に使用できます。
追加	まだ別の共有の一部になっていないデバイスを追加します。

(次のページへ続く)

(続き) 各部	機能
削除	共有からデバイスを削除します。
上へ移動	[デバイス] リスト内で、デバイスを上に移動します。
下へ移動	[デバイス] リスト内で、デバイスを下に移動します。
OK	変更を保存して、ダイアログ ボックスを閉じます。
キャンセル	変更を取り消して、ダイアログ ボックスを閉じます。
適用	変更が適用されます。
ヘルプ	オンライン ヘルプを表示します。

新しい共有

次の図に、[新しい共有] ダイアログ ボックスの例を示します。



各部と機能

次の表に、[新しい共有] ダイアログ ボックスの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
共有デバイス	リストから共有デバイスを選択します。このリストによって、使用するコミュニケーションズ デバイスの種類が決まります。
共有の種類	リストから共有の種類を選択します。この種類によって、コミュニケーション セッションを開始するのか、受信するのか、あるいは開始して受信するのかが決まります。
共有の名前	このフィールドのこの共有の一意の識別子を入力します。

(次のページへ続く)

各部	機能
OK	このダイアログ ボックスを閉じて、変更があればそれを保存します。
キャンセル	変更があっても、それを保存せずにダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	このボタンをクリックすると、オンライン ヘルプが表示されます。

メモ

[共有デバイス]として[CAPI]、[共有の種類]として[ホストのみ]または[ホストとリモート]を選択した場合は、ISDN (統合デジタル通信網)チャンネルの2つのオプションが表示されます。

- ▶ [B-チャンネル]—(ベアラチャンネル)
- ▶ [D-チャンネル]—(デルタチャンネル)

参照

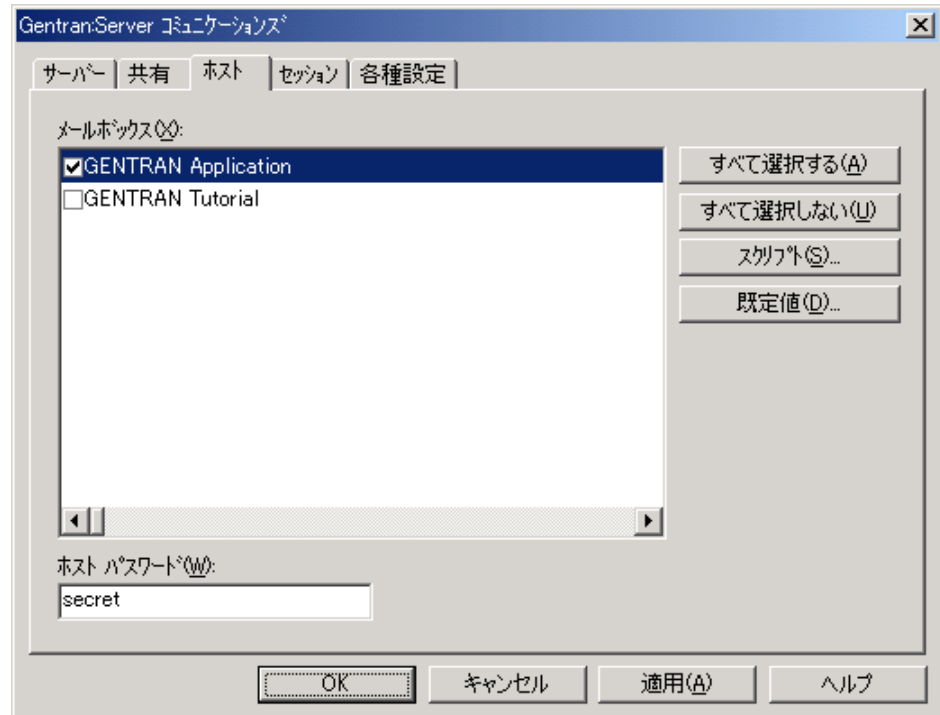
[B-チャンネル]および[D-チャンネル]の詳細については、CAPIまたはISDNの資料を参照してください。

メモ

[共有デバイス]として[ソケット]、[共有の種類]として[ホストとリモート]を選択した場合は、[新しい共有]ダイアログ ボックスに[受信ポート]ボックスが表示されます。

[ホスト] タブ

次の図に、[Gentran:Server コミュニケーションズ] ダイアログ ボックスの [ホスト] タブの例を示します。



各部と機能

次の表に、[Gentran:Server コミュニケーションズ] ダイアログ ボックスの [ホスト] タブの各部分とその機能をまとめます。

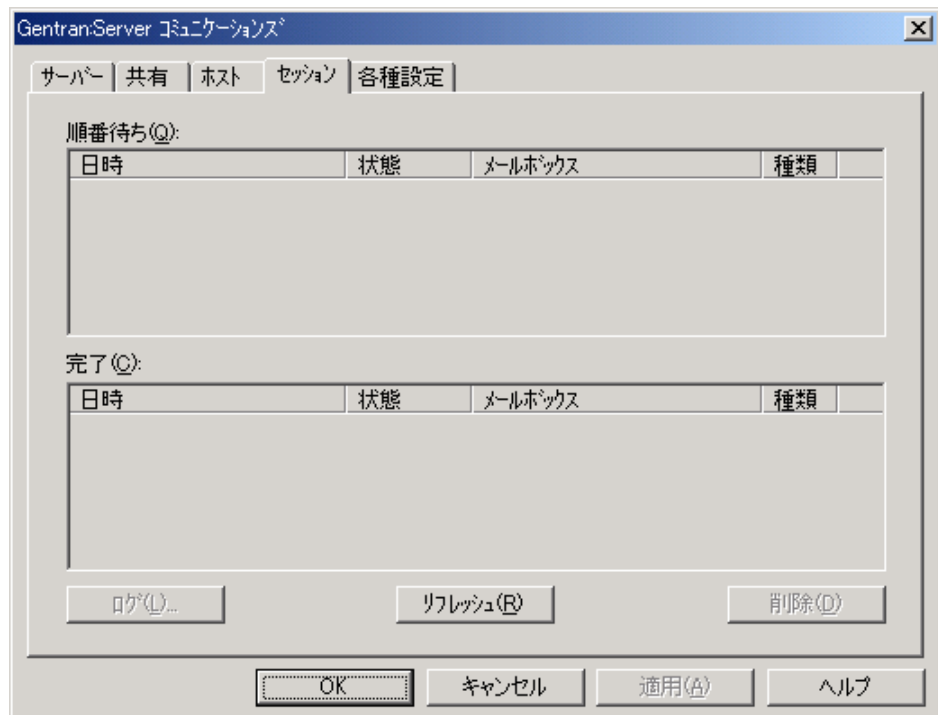
各部	機能
メールボックス	メールボックスのリストを表示します。メールボックスの横のチェック マークは、ホスト メールボックスとして設定されているかどうかを示します。
ホスト パスワード	トレーディング パートナーが、選択したメールボックスにアクセスする場合に使用する必要のあるパスワードを定義します。
すべて選択する	すべてのメールボックスを選択します。
すべて選択しない	すべてのチェックボックスをオフにします。

(次のページへ続く)

(続き) 各部	機能
スクリプト	選択したホスト メールボックスで使用するアドバンスドデータ ディストリビューションのコミュニケーションズスクリプトを定義します。
既定値	選択したメールボックスの既定のメッセージ コンテンツタイプとサブタイプ、および既定のメッセージ受信者を定義します。
OK	変更を保存して、ダイアログ ボックスを閉じます。
キャンセル	変更を取り消して、ダイアログ ボックスを閉じます。
適用	変更が適用されます。
ヘルプ	オンライン ヘルプを表示します。

[セッション] タブ

次の図に、[Gentran:Server コミュニケーションズ] ダイアログ ボックスの [セッション] タブの例を示します。



(次のページへ続く)



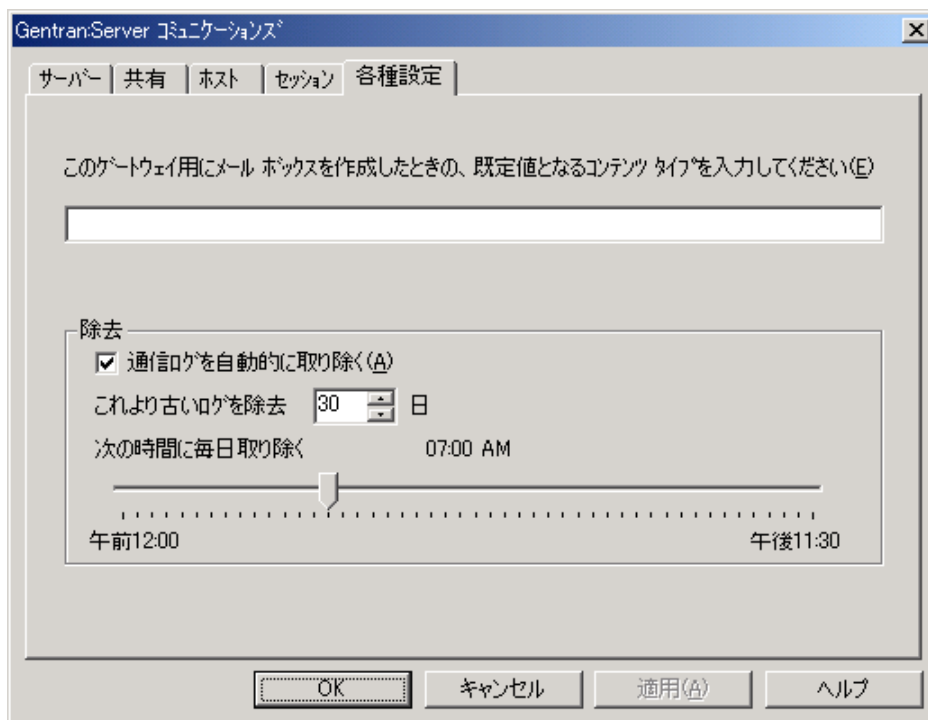
各部と機能

次の表に、[Gentran:Server コミュニケーションズ] ダイアログ ボックスの [セッション] タブの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
順番待ち	すべてのコミュニケーションズ コントローラについて、状態が順番待ちまたは実行中のコミュニケーション セッションをすべて表示します。
完了	すべてのコミュニケーションズ コントローラについて、状態が成功または失敗のコミュニケーション セッションをすべて表示します。
ログ	完了したすべてのセッションのログを表示します。
リフレッシュ	画面を再描画して、表示を新しい情報で更新します。
削除	選択した完了セッションをログから削除します。
OK	変更を保存して、ダイアログ ボックスを閉じます。
キャンセル	変更を取り消して、ダイアログ ボックスを閉じます。
適用	変更が適用されます。
ヘルプ	オンライン ヘルプを表示します。

[各種設定] タブ

次の図に、[Gentran:Server コミュニケーションズ] ダイアログ ボックスの [各種設定] タブの例を示します。



各部と機能

次の表に、[Gentran:Server コミュニケーションズ] ダイアログ ボックスの [各種設定] タブの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
既定のコンテンツタイプ	このゲートウェイを使用するメールボックスについて、既定の MIME コンテンツ タイプおよびサブタイプを定義します。
通信ログを自動的に取り除く	コミュニケーション ログを削除するかどうかを定義します。このオプションは、既定値では無効になっています。
これより古いログを除去 __ 日	メールボックス サーバーからページするまでのコミュニケーション ログを残しておく日数を定義します。
次の時間に毎日取り除く	コミュニケーション ログをページする時間を設定します。
OK	変更を保存して、ダイアログ ボックスを閉じます。 (次のページへ続く)



(続き) 各部	機能
キャンセル	変更を取り消して、ダイアログ ボックスを閉じます。
適用	変更が適用されます。
ヘルプ	オンライン ヘルプを表示します。

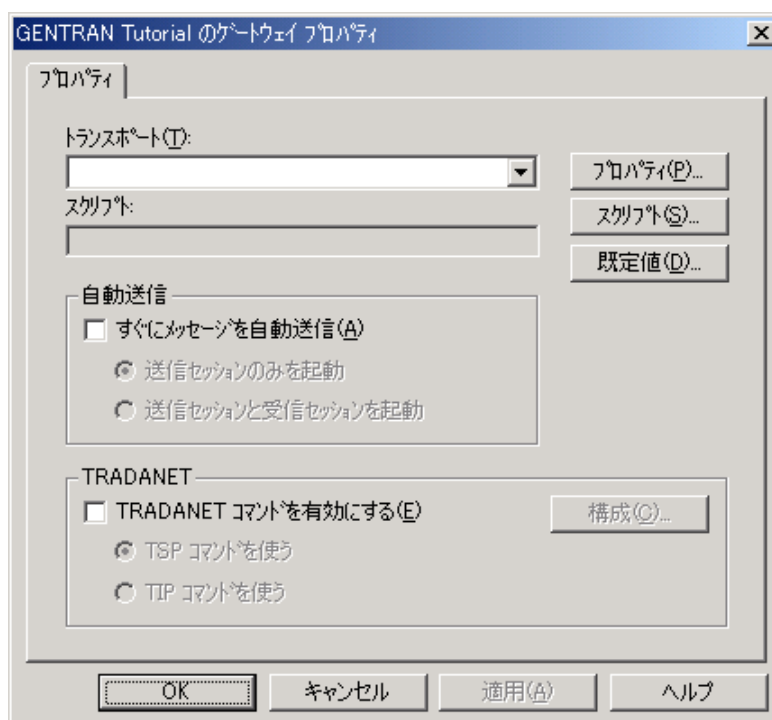
メールボックス ゲートウェイのプロパティ

はじめに

[ゲートウェイプロパティ] ダイアログ ボックスでは、作成したメールボックスのプロパティを定義します。

ゲートウェイ プロパティ

次の図に、[GENTRAN Tutorial のゲートウェイプロパティ] ダイアログ ボックスの例を示します。



各部と機能

次の表に、[GENTRAN Tutorial のゲートウェイプロパティ] ダイアログ ボックスの各部分とその機能をまとめます。

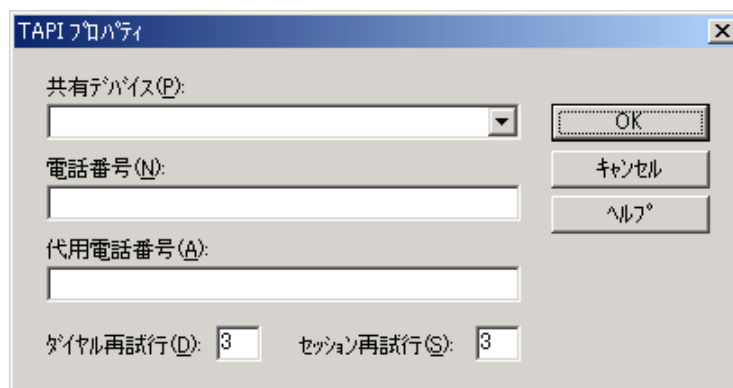
各部	機能
トランスポート	トランスポートの種類を選択できます。
プロパティ	選択したトランスポートの種類のプロパティを定義できます。
スクリプト	Script Editor を起動します。

(次のページへ続く)

(続き) 各部	機能
既定値	[メッセージの既定値] ダイアログ ボックスが表示され、メッセージおよび添付の既定のコンテンツ タイプを設定できます。
自動送信	[自動送信] プロパティを定義できます。
TRADANET	[TRADANET] プロパティを定義できます。
OK	変更を保存および適用して、ダイアログ ボックスを閉じます。
キャンセル	変更を取り消して、ダイアログ ボックスを閉じます。
適用	変更が適用されます。
ヘルプ	オンライン ヘルプ システムが表示されます。

TAPI プロパティ

次の図に、[TAPI プロパティ] ダイアログ ボックスの例を示します。



(次のページへ続く)

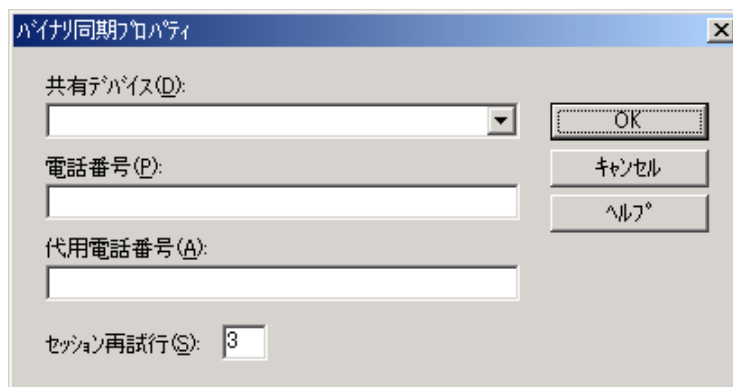
TAPI プロパティ

次の表に、[TAPI プロパティ] ダイアログ ボックスの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
共有デバイス	リストから共有コミュニケーションズ デバイスを選択します。
電話番号	このフィールドに、接続先のコンピュータの電話番号を入力します。
ダイヤル再試行	メールボックス サーバーによって再ダイヤルされる回数を選択します。
セッション再試行	メールボックス サーバーによってセッションが再開される回数を選択します。
OK	このダイアログ ボックスを閉じて、変更があればそれを保存します。
キャンセル	変更があっても、それを保存せずにダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	このボタンをクリックすると、オンライン ヘルプが表示されます。

**バイナリ同期
プロパティ**

次の図に、[バイナリ同期プロパティ] ダイアログ ボックスの例を示します。



(次のページへ続く)

バイナリ同期 プロパティ

次の表に、[バイナリ同期プロパティ]ダイアログ ボックスの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
共有デバイス	共有コミュニケーションズ デバイスを入力するか、リストからアイテムを選択します。
電話番号	VAN またはトレーディング パートナーの電話番号を入力します。
OK	このダイアログ ボックスを閉じて、変更があればそれを保存します。
キャンセル	変更があっても、それを保存せずにダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	このボタンをクリックすると、オンライン ヘルプが表示されます。

[CAPI プロパティ] で [B - チャネル] オプションを 選択した場合

次の図に、[B - チャネル] オプションを選択した場合の [CAPI プロパティ] ダイアログ ボックスの例を示します。

The screenshot shows the 'CAPI プロパティ' dialog box. It contains several input fields and buttons. The '共有デバイス(P):' field is a dropdown menu. Below it are '呼び出すパーティ番号(N):', '(オプション) 呼び出すパーティソフトウェアアドレス(S):', 'オプション機能(F):', and 'ユーザーデータ呼び出し(C):' fields. On the right side, there are three buttons: 'OK', 'キャンセル', and 'ヘルプ'. At the bottom, there is a section titled 'ISDN チャネルの使用' with two radio buttons: 'B - チャネル(B)' (which is selected) and 'D - チャネル(D)'.

(次のページへ続く)

各部と機能

次の表に、[B-チャンネル] オプションを選択した場合の [CAPI プロパティ] ダイアログ ボックスの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
共有デバイス	共有コミュニケーションズ デバイスを入力するか、リストからアイテムを選択します。
呼び出すパーティ番号	VAN またはトレーディング パートナーの ISDN 電話番号を入力します。
(オプション) 呼び出すパーティサブアドレス	ISDN マルチポイント接続に使用するオプションのエントリを指定します。
オプション機能	使用できません。B-チャンネルには適用しないでください。
ユーザー データ呼び出し	使用できません。B-チャンネルには適用しないでください。
ISDN チャンネルの使用	コミュニケーションズに使用するチャンネルを指定します。 参照 このダイアログ ボックスについては、「 [CAPI プロパティ] で [D-チャンネル] オプションを選択した場合 」を参照してください。
OK	このダイアログ ボックスを閉じて、変更があればそれを保存します。
キャンセル	変更があっても、それを保存せずにダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	このボタンをクリックすると、オンライン ヘルプが表示されます。

**[CAPI プロパティ]
で [D - チャネル]
オプションを
選択した場合**

次の図に、[D - チャネル] オプションを選択した場合の [CAPI プロパティ] ダイアログ ボックスの例を示します。

各部と機能

次の表に、[D - チャネル] オプションを選択した場合の [CAPI プロパティ] ダイアログ ボックスの各部分とその機能をまとめます。

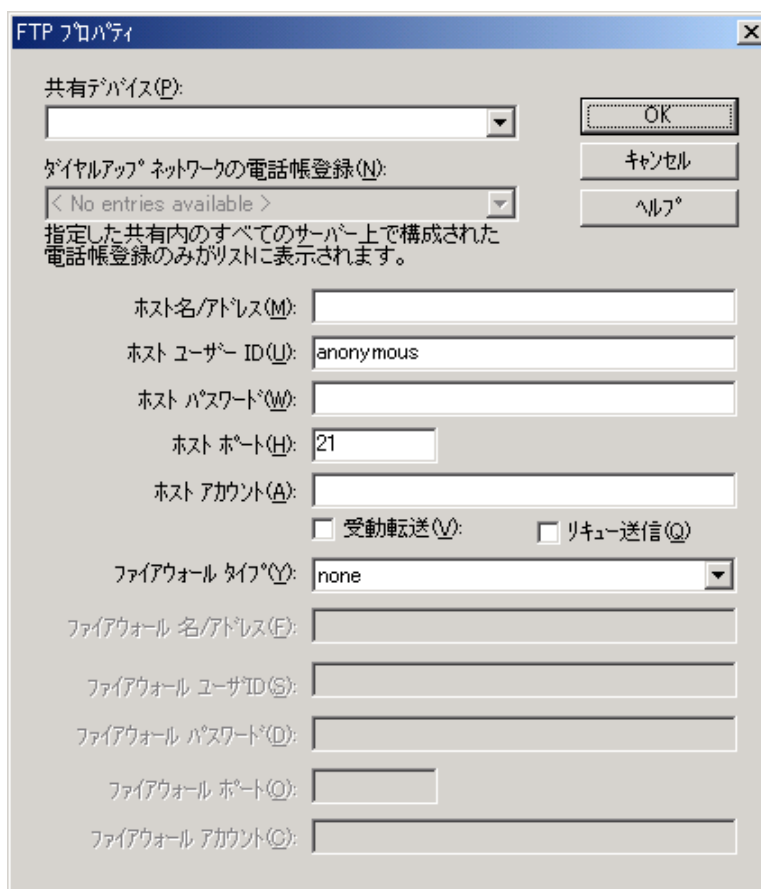
各部	機能
共有デバイス	共有コミュニケーションズ デバイスを入力するか、リストからアイテムを選択します。
呼び出す DTE アドレス NUA	VAN またはトレーディング パートナーのネットワーク ユーザー アドレスを指定します。
(オプション) 呼び出す DTE アドレス NUA	自社のネットワーク ユーザー アドレスを指定します。
オプション機能	X.25 パケット交換データ ネットワークにおいて、データ ターミナル装置 (DTE) で呼び出し情報をネットワークに伝達するために使用するオプション フィールドです。
ユーザー データ 呼び出し	X.25 コミュニケーションズにおいて、ユーザー アプリケーションによって呼び出し要求パケットに含まれるオプション データです。

(次のページへ続く)

各部	機能
ISDN チャンネルの使用	コミュニケーションズに使用するチャンネルを指定します。 参照 このダイアログ ボックスについては、「 [CAPI プロパティ] で [B-チャンネル] オプションを選択した場合」を参照してください。
OK	このダイアログ ボックスを閉じて、変更があればそれを保存します。
キャンセル	変更があっても、それを保存せずにダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	このボタンをクリックすると、オンライン ヘルプが表示されます。

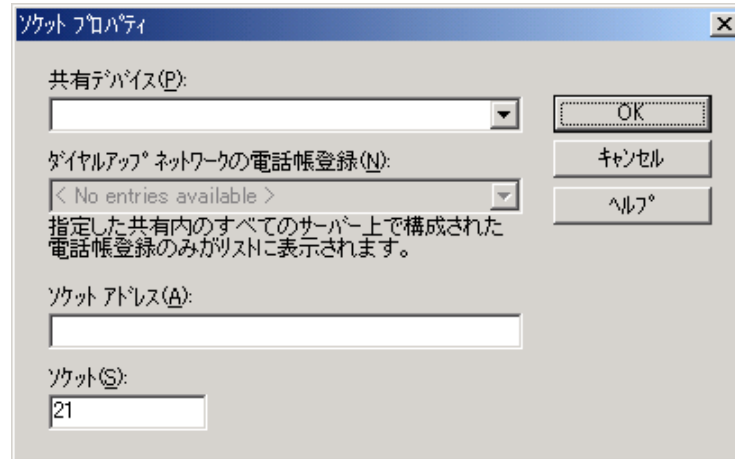
FTP プロパティ

次の図に、[FTP プロパティ] ダイアログ ボックスの例を示します。



ソケット プロパティ

次の図に、[ソケット プロパティ] ダイアログ ボックスの例を示します。



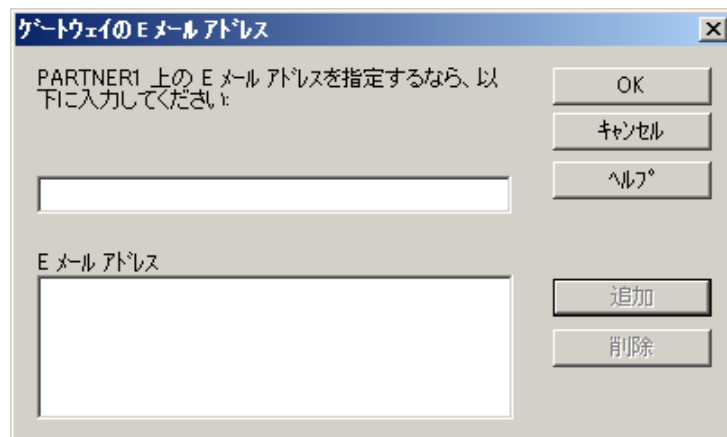
各部と機能

次の表に、[ソケット プロパティ] ダイアログ ボックスの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
共有デバイス	リストから共有デバイスを選択します。
ダイヤルアップ ネットワークの電話帳登録	ダイヤルアップ ネットワークに使用する電話帳登録を選択します。
サーバー	リストからコミュニケーションズ サーバーを選択します。
ソケット アドレス	接続先のコンピュータの IP (インターネット プロトコル) アドレスを入力します。
ソケット	このフィールドに IP ソケット (ポート) 番号を入力します。
OK	このダイアログ ボックスを閉じて、変更があればそれを保存します。
キャンセル	変更があっても、それを保存せずにダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	このボタンをクリックすると、オンライン ヘルプが表示されます。

**ゲートウェイの
E メール アドレス**

次の図に、[ゲートウェイの E メール アドレス] ダイアログ ボックスの例を示します。



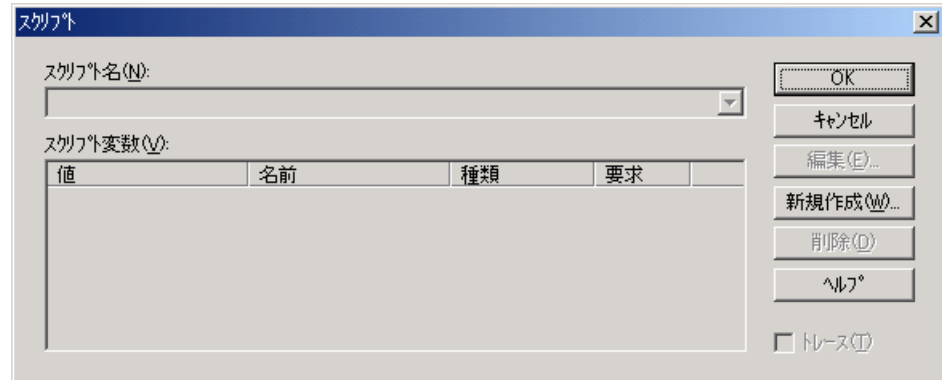
各部と機能

次の表に、[ゲートウェイの E メール アドレス] ダイアログ ボックスの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
E メール アドレス	VAN またはトレーディング パートナーのコンピュータの E メール アドレスを入力します。
E メール アドレス	このリストには、メッセージを受信する VAN またはトレーディング パートナーのコンピュータのすべてのメールアドレスが含まれています。
OK	このダイアログ ボックスを閉じて、変更があればそれを保存します。
キャンセル	変更があっても、それを保存せずにダイアログ ボックスを閉じます。
追加	このボタンをクリックすると、E メール アドレスを追加できます。
削除	このボタンをクリックすると、選択した E メール アドレスを削除できます。
ヘルプ	このボタンをクリックすると、オンライン ヘルプが表示されます。

[スクリプト] ダイアログ ボックス

次の図に、[スクリプト]ダイアログ ボックスの例を示します。



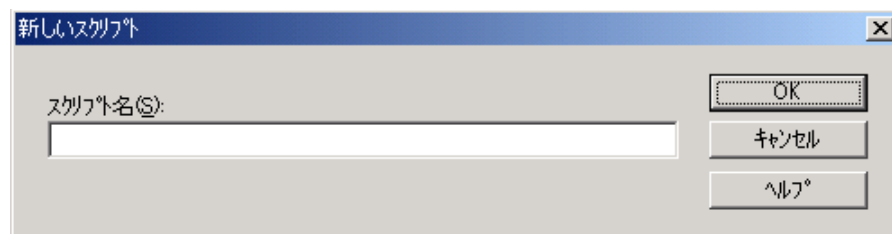
各部と機能

次の表に、[スクリプト]ダイアログ ボックスの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
スクリプト名	リストからコミュニケーションズ スクリプトを選択します。
スクリプト変数	選択したスクリプトの値を定義します。
OK	このダイアログ ボックスを閉じて、変更があればそれを保存します。
キャンセル	変更があっても、それを保存せずにダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	このボタンをクリックすると、オンライン ヘルプが表示されます。
編集	このボタンをクリックして、スクリプトを編集します。
新規作成	このボタンをクリックして、新規スクリプトを作成します。
トレース	このオプションを選択すると、コミュニケーションズ セッションのトレースデータが保存されます。

**[新しいスクリプト]
ダイアログ ボックス**

次の図に、[新しいスクリプト]ダイアログ ボックスの例を示します。



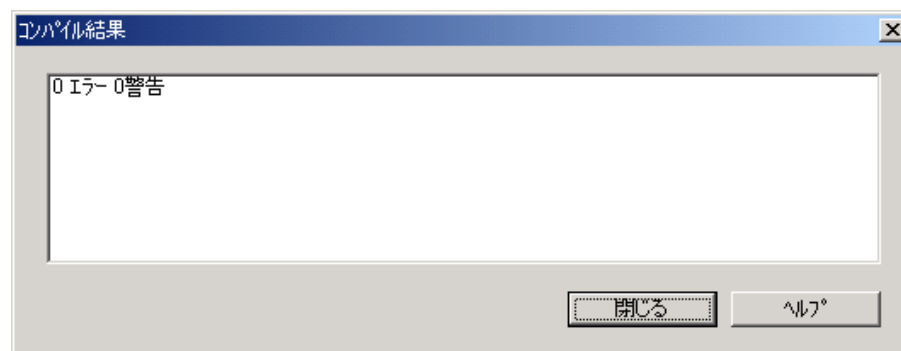
各部と機能

次の表に、[新しいスクリプト]ダイアログ ボックスの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
スクリプト名	使用するコミュニケーションズ スクリプトの名前を入力します。
OK	このダイアログ ボックスを閉じて、変更があればそれを保存します。
キャンセル	変更があっても、それを保存せずにダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	このボタンをクリックすると、オンライン ヘルプが表示されます。

コンパイル結果

次の図に、[コンパイル結果]ダイアログ ボックスの例を示します。



(次のページへ続く)

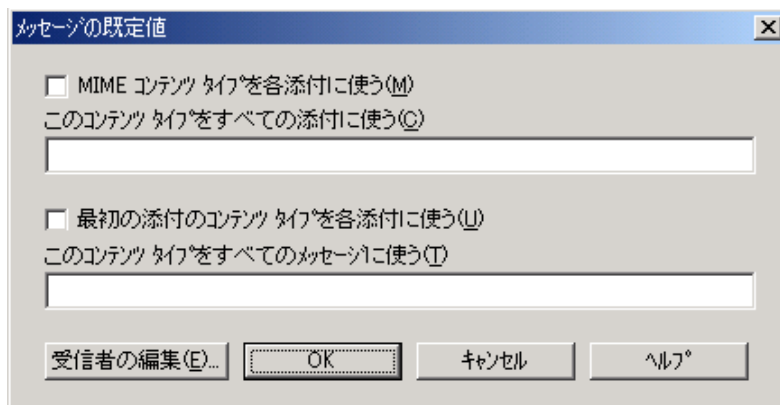
各部と機能

次の表に、[コンパイル結果] ダイアログ ボックスの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
コンパイル結果	コンパイラからの出力を表示します。
ヘルプ	このボタンをクリックすると、オンライン ヘルプが表示されます。
閉じる	このボタンをクリックすると、このダイアログ ボックスが閉じます。

メッセージの既定値

次の図に、[メッセージの既定値] ダイアログ ボックスの例を示します。



メッセージの既定値

次の表に、[メッセージの既定値] ダイアログ ボックスの各部分とその機能をまとめます。

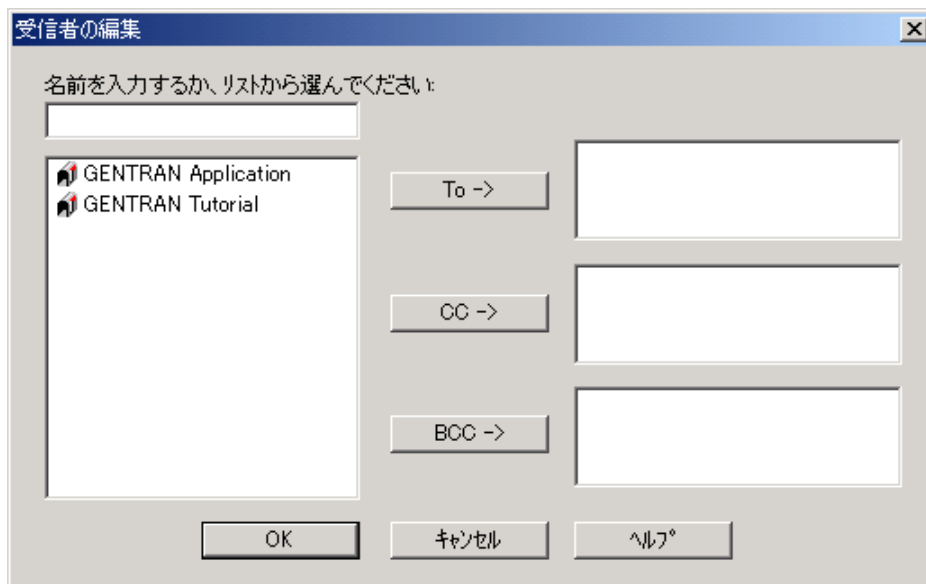
各部	機能
MIME コンテンツ タイプを各添付に使う	このオプションを選択すると、各添付のコンテンツ タイプとして MIME (Multipurpose Internet Mail Extension) を使用します。
このコンテンツ タイプをすべての添付に使う	すべての添付に使用するコンテンツ タイプとサブタイプを入力します。 例 Application/EDI

(次のページへ続く)

(続き) 各部	機能
最初の添付のコンテンツ タイプを各添付に使う	このオプションを選択すると、メッセージ内の最初の添付のコンテンツ タイプが、メッセージ全体のコンテンツ タイプとして使用されます。
このコンテンツ タイプをすべてのメッセージに使う	すべてのメッセージに使用するコンテンツ タイプとサブタイプを入力します。 例 Application/EDI
受信者の編集	メッセージを送信する受信者を選択するには、このボタンをクリックします。
OK	このダイアログ ボックスを閉じて、変更があればそれを保存します。
キャンセル	変更があっても、それを保存せずにダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	このボタンをクリックすると、オンライン ヘルプが表示されます。

受信者の編集

次の図に、[受信者の編集] ダイアログ ボックスの例を示します。



(次のページへ続く)

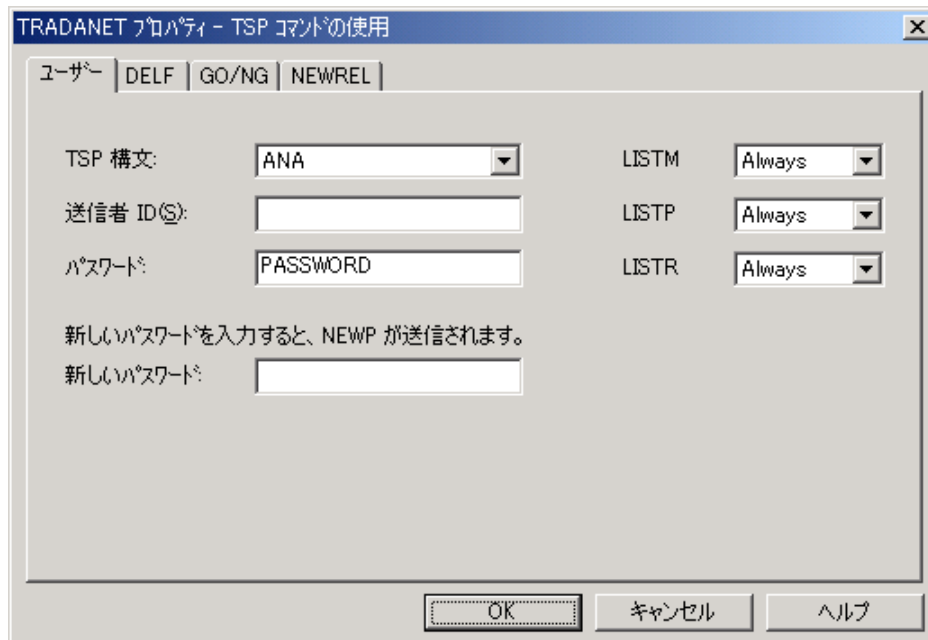
各部と機能

次の表に、[受信者の編集]ダイアログ ボックスの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
名前を入力するか、リストから選んでください	メールアドレスを入力するか、リストからアイテムを選択します。
受信者	E メールアドレスのリストが表示されます。
To	このボタンをクリックすると、このメールアドレスが1次受信者となります。
CC	このボタンをクリックすると、このメールアドレスが2次受信者となります。
BCC	このボタンをクリックすると、このメールアドレスが2次受信者となります。このメールアドレスは、メッセージと一緒に送信されるメール受信者のリストには表示されません。
OK	このダイアログ ボックスを閉じて、変更があればそれを保存します。
キャンセル	変更があっても、それを保存せずにダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	このボタンをクリックすると、オンライン ヘルプが表示されます。

**TRADANET TSP の
[ユーザー] タブ**

次の図に、TRADANET TSP の [ユーザー] タブの例を示します。



各部と機能

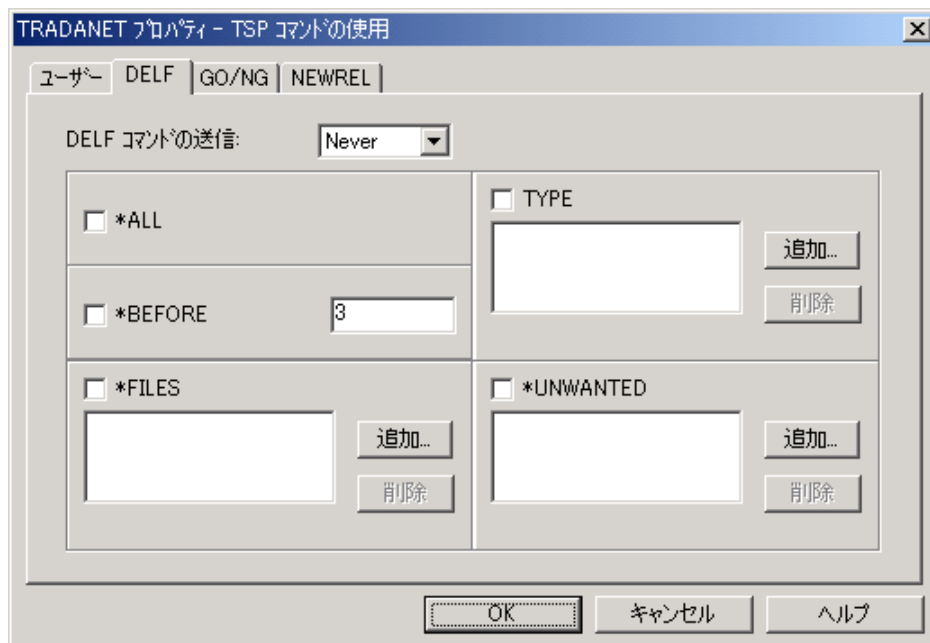
次の表に、TRADANET TSP の [ユーザー] タブの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
TSP 構文	このゲートウェイ メールボックスで使用する標準データ構文を定義します。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ [ANA] ▶ [ANAA] ▶ [DSHB]
送信者 ID	TRADANET ネットワーク上で定義した EDI 番号または OFTP ID を使用して送信者を識別します。
パスワード	TRADANET ネットワーク上での送信者のパスワードを定義します。
新しいパスワード	ユーザーの新しいパスワードを定義します。指定した場合は、NEWP コマンドが送信されます。 (次のページへ続く)

(続き) 各部	機能
LISTM	<p>ユーザーの TRADANET ネットワーク メールボックスの受信メッセージを一覧表示します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ [Never] — このコマンドは送信されません。 ▶ [Always] — このコマンドが常に送信されます。 ▶ [Once] — このコマンドが 1 回のみ送信されます。
LISTP	<p>ユーザーの TRADANET ネットワーク ポストボックスの送信メッセージを一覧表示します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ [Never] — このコマンドは送信されません。 ▶ [Always] — このコマンドが常に送信されます。 ▶ [Once] — このコマンドが 1 回のみ送信されます。
LISTR	<p>ユーザーが定義した TRADANET ネットワーク関係を一覧表示します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ [Never] — このコマンドは送信されません。 ▶ [Always] — このコマンドが常に送信されます。 ▶ [Once] — このコマンドが 1 回のみ送信されます。
OK	<p>変更を保存および適用して、ダイアログ ボックスを閉じます。</p>
キャンセル	<p>変更を取り消して、ダイアログ ボックスを閉じます。</p>
ヘルプ	<p>オンライン ヘルプ システムが表示されます。</p>

TRADANET TSP の [DELF] タブ

次の図に、TRADANET TSP の [DELF] タブの例を示します。DELF はファイルの削除に使用します。



各部と機能

次の表に、TRADANET TSP の [DELF] タブの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
DELF コマンドの送信	DELF コマンドを送信するタイミングを定義します。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ [Never] — このコマンドは送信されません。 ▶ [Always] — このコマンドが常に送信されます。 ▶ [Once] — このコマンドが 1 回のみ送信されます。
*ALL	以前に抽出したすべてのファイルを削除します。
TYPE	以前に抽出したファイルで、指定したデータの種類 (APRF) のものをすべて削除します。
追加	関連付けられたリストにエントリを追加します。
削除	関連付けられたリストからエントリを削除します。
*BEFORE	以前に抽出したファイルで、指定した日数よりも古いものをすべて削除します。

(次のページへ続く)



(続き) 各部	機能
*FILES	以前に抽出したファイルで、指定したもののみを削除します。
追加	関連付けられたリストにエントリを追加します。
削除	関連付けられたリストからエントリを削除します。
*UNWANTED	抽出されていないファイルで、指定したもののみを削除します。
追加	関連付けられたリストにエントリを追加します。
削除	関連付けられたリストからエントリを削除します。
OK	変更を保存して、ダイアログ ボックスを閉じます。
キャンセル	変更を取り消して、ダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	オンライン ヘルプ システムを表示します。

TRADANET TSP の [GO/NG] タブ

次の図に、TRADANET TSP の [GO/NG] タブの例を示します。



(次のページへ続く)

各部と機能

次の表に、TRADANET TSP の [GO/NG] タブの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
GO/NG コマンドの送信	GO/NG コマンドを送信するタイミングを定義します。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ [Never] — このコマンドは送信されません。 ▶ [Always] — このコマンドが常に送信されます。 ▶ [Once] — このコマンドが 1 回のみ送信されます。
使用法	ファイルの受信に、GO コマンドまたは NG コマンドのどちらを使用するかを選択します。
*All	抽出されていないすべてのファイルが受信されるように指定します。
TYPE	抽出されていないファイルで、指定したデータの種類 (APRF) のものをすべて受信します。
追加	関連付けられたリストにエントリを追加します。
削除	関連付けられたリストからエントリを削除します。
USER	抽出されていないすべてのファイルを、指定したユーザーから受信します。このコマンドが選択された場合、SELF (ファイル選択) コマンドが使用できないために、ほかのすべてのオプションが無効になります。
*FILES	抽出されていないファイルで、指定したもののみを受信します。
追加	関連付けられたリストにエントリを追加します。
削除	関連付けられたリストからエントリを削除します。
*AGAIN	以前に抽出したファイルで、指定したもののみを受信します。
追加	関連付けられたリストにエントリを追加します。
削除	関連付けられたリストからエントリを削除します。
OK	変更を保存して、ダイアログ ボックスを閉じます。
キャンセル	変更を取り消して、ダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	オンライン ヘルプ システムを表示します。

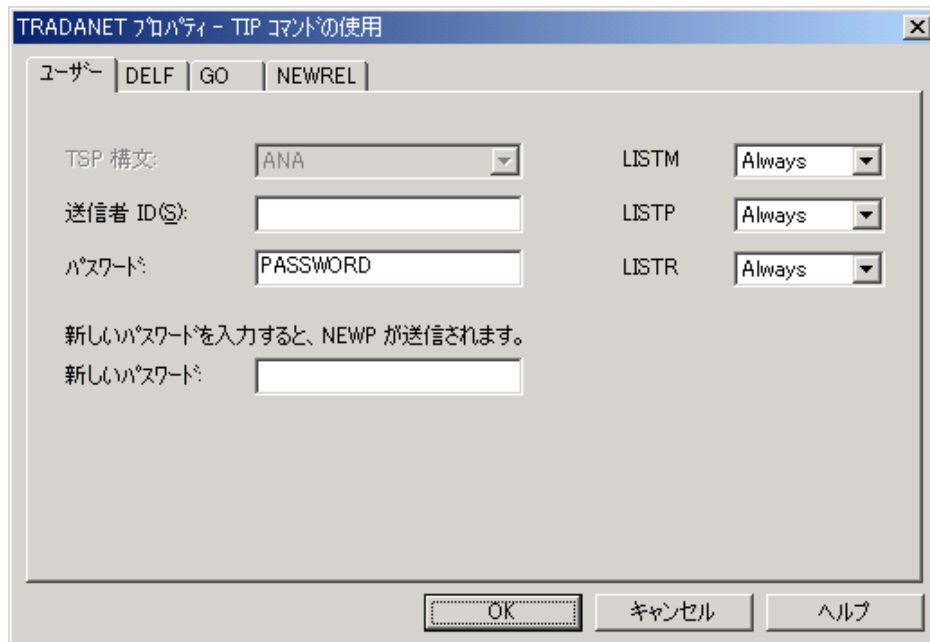
TRADANET TSP の [NEWREL] タブの 各部と機能

次の表に、TRADANET TSP の [NEWREL] タブの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
NEWREL コマンドの送信	NEWREL コマンドを送信するタイミングを定義します。 有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ [Never] — このコマンドは送信されません。 ▶ [Once] — このコマンドが 1 回のみ送信されます。
方向	ファイルが関係とともに伝送される方向を定義します。有効な値は [送信] と [受信] です。
動作	関係に対しての動作を定義します。有効な値は [確立] と [キャンセル] です。
データの種類	トレーディング パートナーに伝送されるデータの種類を定義します。有効な値は [いずれか] またはユーザーが定義した値です。
パートナー	新しいトレーディング パートナーの名前を定義します。有効な値は [全員] またはユーザーが定義した値です。
追加	リストに関係を追加します。
変更	リスト内の関係の変更を可能にします。
削除	リストから関係を削除します。
OK	変更を保存して、ダイアログ ボックスを閉じます。
キャンセル	変更を取り消して、ダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	オンライン ヘルプ システムが表示されます。

**TRADANET TIP の
[ユーザー] タブ**

次の図に、TRADANET TIP の [ユーザー] タブの例を示します。



各部と機能

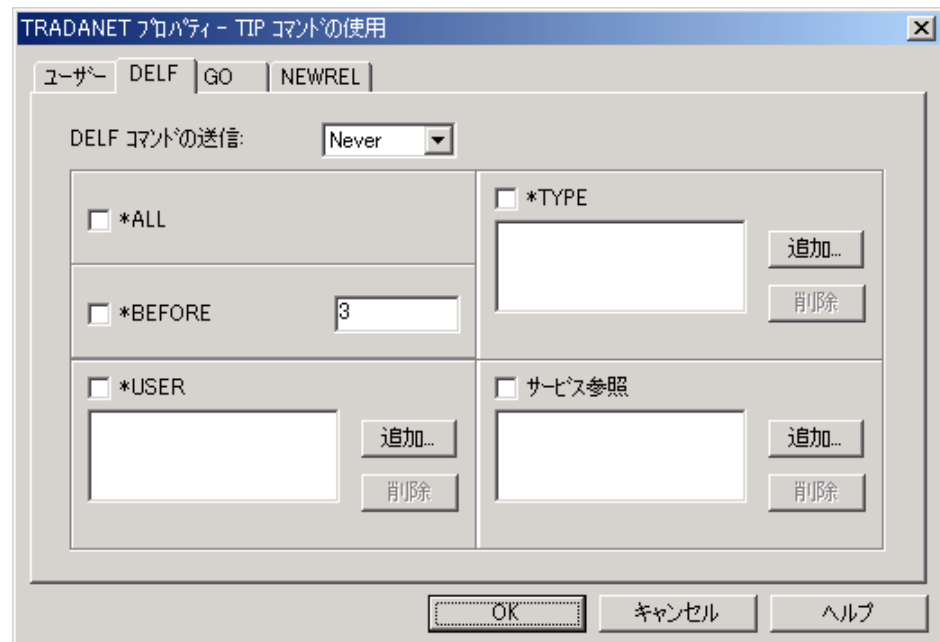
次の表に、TRADANET TIP の [ユーザー] タブの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
送信者 ID	TRADANET ネットワーク上で定義した EDI 番号または OFTP ID を使用して送信者を識別します。
パスワード	TRADANET ネットワーク上での送信者のパスワードを定義します。
新しいパスワード	ユーザーの新しいパスワードを定義します。指定した場合は、NEWP コマンドが送信されます。
LISTM	ユーザーの TRADANET ネットワーク メールボックスの受信メッセージを一覧表示します。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ [Never] — このコマンドは送信されません。 ▶ [Always] — このコマンドが常に送信されます。 ▶ [Once] — このコマンドが 1 回のみ送信されます。 <p style="text-align: right;">(次のページへ続く)</p>

(続き) 各部	機能
LISTP	ユーザーの TRADANET ネットワーク ポストボックスの送信メッセージを一覧表示します。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ [Never] — このコマンドは送信されません。 ▶ [Always] — このコマンドが常に送信されます。 ▶ [Once] — このコマンドが 1 回のみ送信されます。
LISTR	ユーザーが定義した TRADANET ネットワーク関係を一覧表示します。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ [Never] — このコマンドは送信されません。 ▶ [Always] — このコマンドが常に送信されます。 ▶ [Once] — このコマンドが 1 回のみ送信されます。
OK	変更を保存および適用して、ダイアログ ボックスを閉じます。
キャンセル	変更を取り消して、ダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	オンライン ヘルプ システムが表示されます。

TRADANET TIP の [DELF] タブ

次の図に、TRADANET TIP の [DELF] タブの例を示します。



(次のページへ続く)

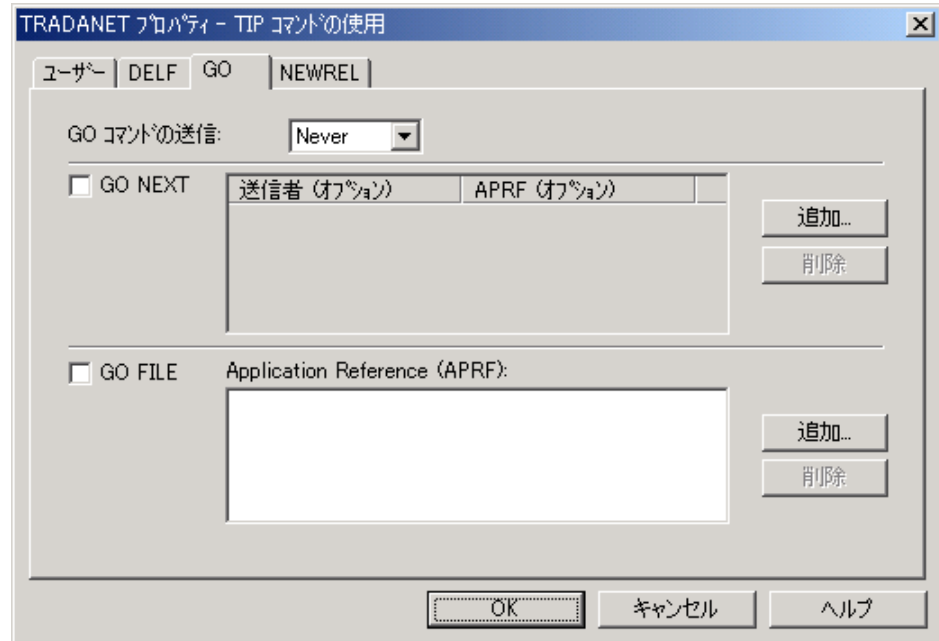
各部と機能

次の表に、TRADANET TIP の [DELF] タブの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
DELF コマンドの送信	DELF コマンドを送信するタイミングを定義します。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ [Never] — このコマンドは送信されません。 ▶ [Always] — このコマンドが常に送信されます。 ▶ [Once] — このコマンドが 1 回のみ送信されます。
*ALL	以前に抽出したすべてのファイルを削除します。
*TYPE	以前に抽出したファイルで、指定したデータの種類 (APRF) のものをすべて削除します。
追加	関連付けられたリストにエントリを追加します。
削除	関連付けられたリストからエントリを削除します。
*BEFORE	以前に抽出したファイルで、指定した日数よりも古いものをすべて削除します。
*USER	以前に抽出したすべてのファイルを、指定したサービス参照から削除します。
追加	関連付けられたリストにエントリを追加します。
削除	関連付けられたリストからエントリを削除します。
サービス参照	指定したサービス参照とともにファイルを削除します。
追加	関連付けられたリストにエントリを追加します。
削除	関連付けられたリストからエントリを削除します。
OK	変更を保存して、ダイアログ ボックスを閉じます。
キャンセル	変更を取り消して、ダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	オンライン ヘルプ システムを表示します。

TRADANET TIP の [GO] タブ

次の図に、TRADANET TIP の [GO] タブの例を示します。



各部と機能

次の表に、TRADANET TIP の [GO] タブの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
GO コマンドの送信	GO コマンドを送信するタイミングを定義します。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ [Never] — このコマンドは送信されません。 ▶ [Always] — このコマンドが常に送信されます。 ▶ [Once] — このコマンドが 1 回のみ送信されます。
GO NEXT	抽出されていないすべてのファイルを受信します。
送信者 (オプション)	指定した送信者から次の論理ファイルを返すサービスを指定します。何も指定しない場合は、次の論理ファイルが取り出されます。 このフィールドは、[APRF(オプション)] リストと組み合わせて使用できます。 (次のページへ続く)

(続き) 各部	機能
APRF (オプション)	<p>入力した APRF 値に一致するアプリケーション参照とともに、次の論理ファイルを返すサービスを指定します。何も指定しない場合は、次の論理ファイルが取り出されます。</p> <p>このフィールドは、[送信者 (オプション)] リストと組み合わせて使用できます。</p>
追加	関連付けられたリストにエントリを追加します。
削除	関連付けられたリストからエントリを削除します。
GO FILE	サービスの状態にかかわらず、指定したアプリケーション参照とともに次の論理ファイルを取り出します。
Application Reference (APRF)	受信したアプリケーション参照のリストを表示します。
追加	関連付けられたリストにエントリを追加します。
削除	関連付けられたリストからエントリを削除します。
OK	変更を保存して、ダイアログ ボックスを閉じます。
キャンセル	変更を取り消して、ダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	オンライン ヘルプ システムを表示します。

TRADANET TIP の [NEWREL] タブの 各部と機能

次の表に、TRADANET TIP の [NEWREL] タブの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
NEWREL コマンドの送信	NEWREL コマンドを送信するタイミングを定義します。 有効なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ [Never] — このコマンドは送信されません。 ▶ [Once] — このコマンドが 1 回のみ送信されます。
方向	ファイルが関係とともに伝送される方向を定義します。有効な値は [送信] と [受信] です。
動作	関係に対しての動作を定義します。有効な値は [確立] と [キャンセル] です。
データの種類	トレーディング パートナーに伝送されるデータの種類を定義します。有効な値は [いずれか] またはユーザーが定義した値です。
パートナー	新しいトレーディング パートナーの名前を定義します。有効な値は [全員] またはユーザーが定義した値です。
追加	リストに関係を追加します。
変更	リスト内の関係の変更を可能にします。
削除	選択した関係をリストから削除します。
OK	変更を保存して、ダイアログ ボックスを閉じます。
キャンセル	変更を取り消して、ダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	オンライン ヘルプ システムが表示されます。

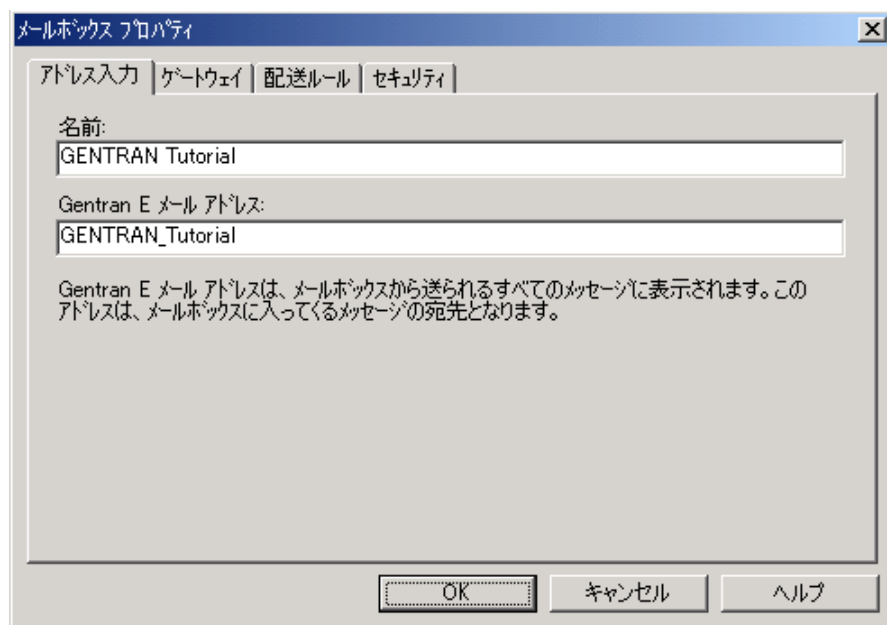
メールボックス プロパティ

はじめに

[メールボックス プロパティ] ダイアログ ボックスでは、メールボックスのプロパティを定義します。

[アドレス入力] タブ

次の図に、[メールボックス プロパティ] ダイアログ ボックスの [アドレス入力] タブの例を示します。



各部と機能

次の表に、[メールボックス プロパティ] ダイアログ ボックスの [アドレス入力] タブの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
名前	メールボックスの名前を定義します。
Gentran E メールアドレス	メールボックスから送信されるメッセージの GENTRAN E メールアドレスを定義します。
OK	変更を保存して、ダイアログ ボックスを閉じます。
キャンセル	変更を保存しないで、ダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	オンライン ヘルプを表示します。

[ゲートウェイ] タブ

次の図に、[メールボックス プロパティ] ダイアログ ボックスの [ゲート ウェイ] タブの例を示します。



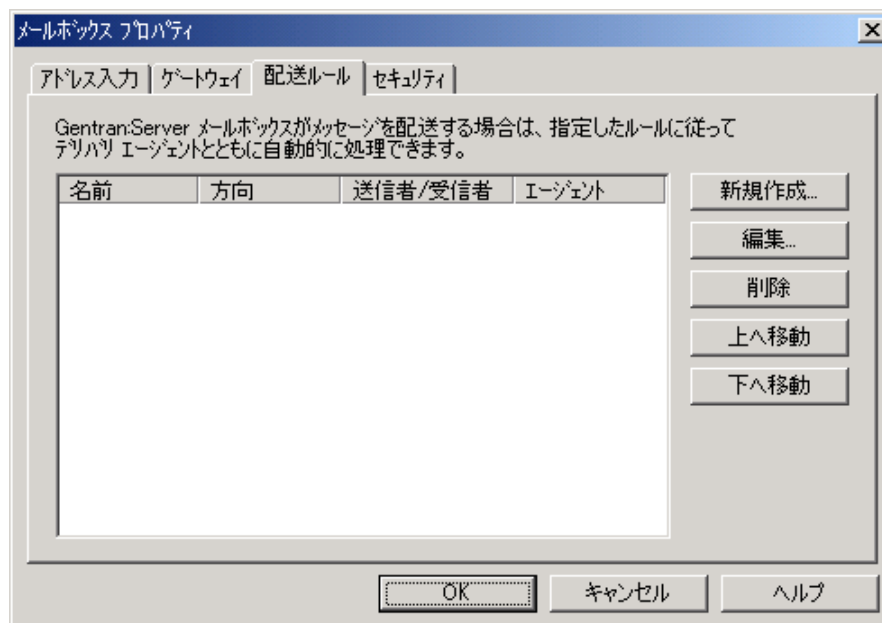
各部と機能

次の表に、[メールボックス プロパティ] ダイアログ ボックスの [ゲート ウェイ] タブの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
ゲートウェイ	メールボックスがゲートウェイであるかどうかを指定します。 オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ [このメールボックスはゲートウェイではありません] ▶ [このメールボックスはゲートウェイです]
種類	ゲートウェイの種類を指定します。[このメールボックスはゲートウェイです] ラジオ ボタンが選択されている場合にのみアクティブになります。
構成	選択したゲートウェイのプロパティを構成できます。
OK	変更を保存して、ダイアログ ボックスを閉じます。
キャンセル	変更を保存しないで、ダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	オンライン ヘルプを表示します。

[配送ルール] タブ

次の図に、[メールボックス プロパティ] ダイアログ ボックスの [配送ルール] タブの例を示します。



各部と機能

次の表に、[メールボックス プロパティ] ダイアログ ボックスの [配送ルール] タブの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
名前	配送ルールの名前を定義します。
方向	メッセージの送信時または受信時のどちらでルールを実行するかを指定します。
送信者 / 受信者	送信者または受信者のメールボックスを指定します。メールボックス名とは別にメールアドレスを指定できます。
エージェント	実行するデリバリ エージェントの名前を指定します。
新規作成	新しい配送ルールを作成します。
編集	既存の配送ルールを編集します。
削除	配送ルールを削除します。
上へ移動	選択されている配送ルールを 1 つ上へ移動します。

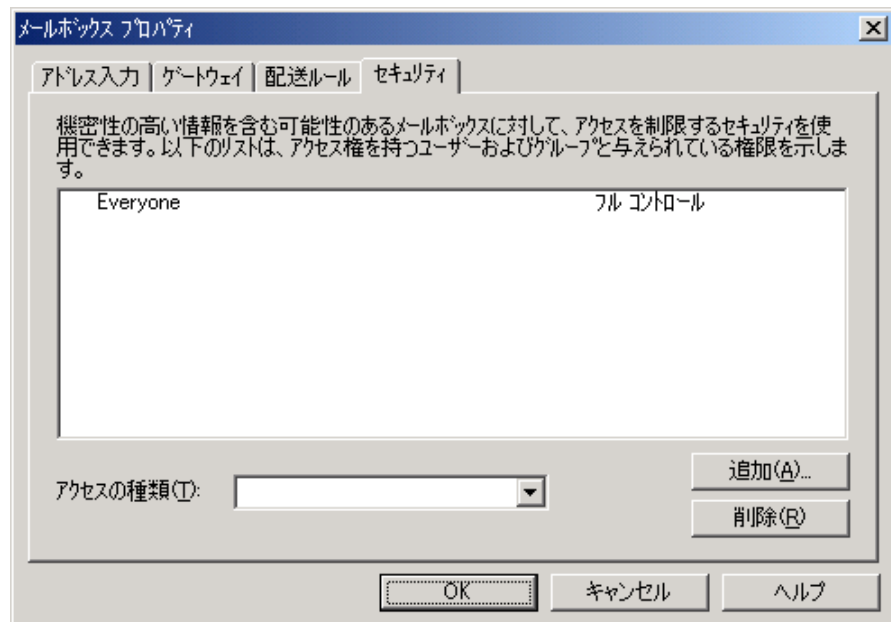
(次のページへ続く)



(続き) 各部	機能
下へ移動	選択されている配送ルールを1つ下へ移動します。
OK	変更を保存して、ダイアログ ボックスを閉じます。
キャンセル	変更を保存しないで、ダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	オンライン ヘルプを表示します。

【セキュリティ】 タブ

次の図に、[メールボックス プロパティ] ダイアログ ボックスの[セキュリティ] タブの例を示します。



(次のページへ続く)

各部と機能

次の表に、[メールボックス プロパティ]ダイアログ ボックスの[セキュリティ]タブの各部分とその機能をまとめます。

各部	機能
ユーザーのリスト	メールボックスにアクセスできるユーザーおよびグループを定義します。
アクセスの種類	メールボックスに対するユーザーの権限を指定します。 指定できる値は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ [フルコントロール] ▶ [読み込み] ▶ [書き込み]
追加	ユーザーまたはグループに、メールボックスへのアクセス権を与えます。
削除	ユーザーまたはグループのメールボックスへのアクセス権を取り消します。
OK	変更を保存して、ダイアログ ボックスを閉じます。
キャンセル	変更を保存しないで、ダイアログ ボックスを閉じます。
ヘルプ	オンライン ヘルプを表示します。

手順

構成処理

はじめに

トレーディング パートナーとドキュメントの送受信を開始する前に、ご使用のコミュニケーションズ ハードウェアおよびソフトウェアを構成する必要があります。

構成の各段階

次の表に、トレーディング パートナーと使用するアドバンスド データ ディストリビューション コミュニケーションズの構成手順をまとめます。

段階	説明
1	<p>コントロールパネルの中の Microsoft Windows® モデム アプレットを使用して、コミュニケーションズ ハードウェアを定義します。</p> <p>参照 コミュニケーションズ ハードウェアの定義については、Microsoft Windows のマニュアルを参照してください。</p>
2	<p>アドバンスド データ ディストリビューションに使用する Gentran:Server コミュニケーションズ ゲートウェイを構成します。</p> <p>参照 詳細については、「コミュニケーションズ ゲートウェイの構成方法」を参照してください。</p>
3	<p>使用するメールボックスを作成します。このゲートウェイで使用するメールボックスごとに、この手順を繰り返します。</p> <p>参照 詳細については、「アドバンスド データ ディストリビューション メールボックスの作成方法」を参照してください。</p>

コミュニケーションズ ゲートウェイの構成方法

はじめに

ここでは、アドバンスド データ ディストリビューションに使用する Gentran:Server コミュニケーションズ ゲートウェイを構成する方法について説明します。アドバンスド データ ディストリビューションは、Gentran:Server システムからダイヤルするため、または同システムにダイヤルするために使用します。

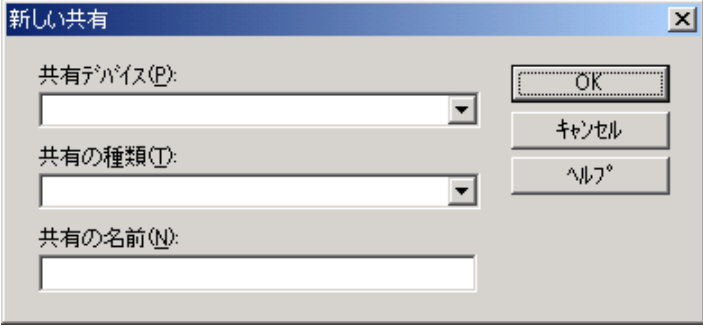
始める前に

Gentran:Server でのコミュニケーションに使用するコミュニケーションズ デバイスが、コミュニケーションズ コントローラで定義されていることを確認します。

手順

アドバンスド データ ディストリビューション用の Gentran:Server コミュニケーションズ ゲートウェイを構成するには、次の手順に従います。

ステップ	操作
1	<p>メールボックス サーバー マネージャを起動します。</p> <p>システムからの応答 メールボックスの [サーバー マネージャ] ブラウザが表示されます。</p>
2	<p>[ゲートウェイ] フォルダを展開して、インストールされているゲートウェイの一覧を表示します。</p>
3	<p>[ゲートウェイ] フォルダから [Gentran:Server コミュニケーションズ] を選択します。</p>
4	<p>右クリックして [プロパティ] を選択し、このゲートウェイのプロパティを定義します。</p> <p>システムからの応答 [Gentran:Server コミュニケーションズ] ダイアログ ボックスが表示されます。</p>
5	<p>[サーバー] タブの [Communications Servers] リストから、構成するコミュニケーションズ サーバーを選択します。</p> <p>システムからの応答 選択したコミュニケーションズ サーバーで使用できるコミュニケーションズ デバイスの一覧が、[デバイス] リストに表示されます。</p>
6	<p>[デバイス] リストで、共有で使用できるようにするデバイスの前にある チェック ボックス をクリックします。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ続く)</p>

(続き) ステップ	操作								
7	<p>メールボックス サーバー システム内のコミュニケーションズ コントローラごとに、ステップ 1 から 6 までを繰り返します。</p> <p>例 メールボックス サーバー システム内のコンピュータから、CommServ1 上では 56 kbps のモデムを、CommServe2 上では 28.8 kbps のモデムを利用できるようにしたいとします。CommServ1 上で メールボックス サーバー マネージャを起動し、[サーバー] リストから [CommServ1] を選択して [デバイス] リストから 56 kbps のモデムを選択します。CommServ2 で メールボックス サーバー マネージャを起動し、[サーバー] リストから [CommServ2] を選択して [デバイス] リストから 28.8 kbps のモデムを選択します。これで、モデムがメールボックス サーバー システム上の共有デバイスで使用できるようになりました。</p>								
8	<p>[共有] タブを選択して [新規作成] をクリックし、新しい共有を追加します。</p> <p>システムからの応答 [新しい共有] ダイアログ ボックスが表示されます。</p> 								
9	[共有デバイス] リストから デバイス を選択します。								
10	<p>次に従って、[共有の種類] リストから何を選択するかを決めます。</p> <table border="1" data-bbox="608 1518 1418 1845"> <thead> <tr> <th>作成する共有</th> <th>選択する項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コミュニケーションズ接続を開始する</td> <td>[リモートのみ]</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーションズ接続を受ける</td> <td>[ホストのみ]</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーションズ接続を開始し、受ける</td> <td>[ホストとリモート]</td> </tr> </tbody> </table>	作成する共有	選択する項目	コミュニケーションズ接続を開始する	[リモートのみ]	コミュニケーションズ接続を受ける	[ホストのみ]	コミュニケーションズ接続を開始し、受ける	[ホストとリモート]
作成する共有	選択する項目								
コミュニケーションズ接続を開始する	[リモートのみ]								
コミュニケーションズ接続を受ける	[ホストのみ]								
コミュニケーションズ接続を開始し、受ける	[ホストとリモート]								
11	<p>[共有の名前] ボックス内に、この共有の一意な名前を入力します。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ続く)</p>								

(続き) ステップ	操作	
12	次の表に従って、次に行う操作を決めます。	
	ステップ 11 で選択した共有の種類	次に進むステップ
	[リモートのみ]	ステップ 25
	[ホストのみ]	ステップ 13
	[ホストとリモート]	ステップ 13
13	次の表に従って、次に行う操作を決めます。	
	ステップ 9 で選択した共有デバイス	手順
	[CAPI]	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ISDN チャンネルを選択します。有効なオプションは [B - チャンネル] と [D - チャンネル] です。次のステップに進みます。既定値は [B - チャンネル] です。 ▶ 次のステップに進みます。
	[SOCKETS]	<ul style="list-style-type: none"> ▶ [受信ポート] ボックスに適切な値を入力します。 ▶ 次のステップに進みます。 <p style="text-align: right; color: green;">(次のページへ続く)</p>

(続き) ステップ	操作
14	<p>[スクリプト] をクリックして、このゲートウェイで使用するアドバンスド データ ディストリビューション ログイン スクリプトを定義します。</p> <p>メモ 共有と関連付けたスクリプトは、このゲートウェイの主ログインスクリプトとなります。このスクリプトは、リモート ユーザーと完全なコミュニケーションズ セッションを実行できるように作成することができます。さらに、別のスクリプトを作成して各アドバンスド データ ディストリビューション メールボックスに関連付け、追加処理を実行させることもできます。この場合、共有と関連付けられている主スクリプトが最初に実行され、その次にアドバンスド データ ディストリビューション メールボックスと関連付けられているスクリプトが実行されます。</p> <p>関連トピック Gentran:Server for Windows コミュニケーションズ サブシステムで使用できるスクリプト言語については、『スクリプト言語 リファレンス ガイド』の「スクリプト言語リファレンス」を参照してください。</p> <p>例 リモート システムによって Gentran:Server システムの呼び出しが開始されると、コミュニケーションズ サービスによってその呼び出しが受け取られ、この共有に対するリモート ユーザーのログイン ID とパスワードの認証を行うログイン スクリプトが実行されます。</p>
15	[新規作成] をクリックします。
16	<p>一意のスクリプト名を入力して、[OK] をクリックします。</p> <p>システムからの応答 [Script Editor] ダイアログ ボックスが表示されます。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ続く)</p>

(続き) ステップ	操作	
17	次の表に従って、次に行う操作を決めます。	
	操作	手順
	スクリプトを作成する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ [スクリプト]ダイアログにスクリプト情報を入力します。 <p>関連トピック Gentran:Server for Windows コミュニケーションズ サブシステムで使用できるスクリプト言語については、『スクリプト言語 リファレンス ガイド』の「スクリプト言語 リファレンス」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ステップ 20 に進みます。
サンプル スクリプトを使用する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 次のステップに進みます。 	
18	[ファイル]メニューから [インポート] を選択します。 システムからの応答 [スクリプトのインポート]ダイアログ ボックスが表示されます。	
19	スクリプトを選択して、[開く]をクリックします。 例 Sample Pool Host.script は、Gentran:Server に付属するサンプル共有スクリプトです。 システムからの応答 スクリプト ファイルのコピーが Script Editor に読み込まれます。	
20	[ファイル]メニューから [コンパイル] を選択します。 システムからの応答 新規スクリプトがコンパイルされます。エラーおよび警告なしでスクリプトがコンパイルされたことを示すダイアログ ボックスが表示されます。 メモ コンパイルされたスクリプトはゲートウェイとともに格納されます。[CommScr]フォルダに格納されている元のスクリプト ファイルは変更されません。したがって、同じスクリプトの複数のコピーを用意して、このアダプタで使用することができます。 <p style="text-align: right; color: green;">(次のページへ続く)</p>	

(続き) ステップ	操作	
21	[コンパイル] ダイアログ ボックスを閉じ、[はい] をクリックしてコンパイルされたスクリプトを保存します。	
22	[ファイル] メニューから [終了] を選択します。	
23	[はい] をクリックして変更を保存します。 システムからの応答 [スクリプト] ダイアログ ボックスに戻ります。	
24	選択したスクリプトに変数が含まれているかどうかによって、次を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 含まれている場合は、定義する変数を選択して、値ボックスに適切な値を入力します。定義するすべての変数について、この手順を繰り返します。次のステップに進みます。 ▶ 含まれていない場合は、そのまま次のステップに進みます。 	
25	[OK] をクリックして、[Gentran:Server コミュニケーションズ] ダイアログ ボックスの [共有] タブに戻ります。	
26	[追加] をクリックして、作成したデバイスを共有に追加します。 システムからの応答 [デバイスをプールに追加] ダイアログ ボックスが表示されます。	
27	共有に追加するサーバーおよびデバイスの名前を反転表示にし、[OK] をクリックします。 システムからの応答 [共有] タブ ダイアログ ボックスに戻ります。追加したデバイスが [デバイス] リストに表示されます。	
28	次の表に従って、次に行う操作を決めます。	
	ステップ 11 で選択した共有の種類	次に進むステップ
	[リモートのみ]	ステップ 42
	[ホストのみ]	ステップ 29
	[ホストとリモート]	ステップ 29
29	[ホスト] タブを選択します。	
30	ホスト メールボックスに指定するメールボックスの前の チェック ボックスをクリックします。 (次のページへ続く)	

(続き) ステップ	操作
31	[ホスト パスワード] ボックスにパスワードを入力します。
32	[既定値] をクリックします。 システムからの応答 [メッセージの既定値] ダイアログ ボックスが表示されます。
33	添付オプションに使用する既定のコンテンツ タイプ を選択または入力します。
34	メッセージ オプションに使用する既定のコンテンツ タイプを選択または入力します。
35	[受信者の編集] をクリックします。 システムからの応答 [受信者の編集] ダイアログ ボックスが表示されます。
36	リストから受信者を選択し、[To] をクリックします。 システムからの応答 [E メール アドレス] ダイアログ ボックスが表示されます。
37	E メール アドレスを指定するかどうかによって、次を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 指定する場合は、ボックスに値を入力します。[追加] をクリックします。指定するすべての E メール アドレスについて、この手順を繰り返します。[OK] をクリックし、[受信者の編集] ダイアログ ボックスに戻ります。次のステップに進みます。 ▶ 指定しない場合は、[OK] をクリックし、[受信者の編集] ダイアログ ボックスに戻ります。次のステップに進みます。
38	[OK] をクリックして、[メッセージの既定値] ダイアログ ボックスに戻ります。
39	[OK] をクリックして、[ホスト] タブに戻ります。 <p style="text-align: right;">(次のページへ続く)</p>

(続き) ステップ	操作
40	<p>選択したメールボックスにスクリプトを割り当てるかどうかによって、次を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 割り当てる場合は、[スクリプト] をクリックして、選択したメールボックスで使用するスクリプトの選択、コンパイル、および保存を行います。次のステップに進みます。 <p>メモ ホスト スクリプトは必須ではありません。ホスト スクリプトが必要になるのは、共有デバイスに割り当てられたスクリプトがセッション全体を処理しない場合のみです。</p> <p>参照 Gentran:Server for Windows コミュニケーションズ サブシステムで使用できるスクリプト言語については、『スクリプト言語 リファレンス ガイド』の「スクリプト言語 リファレンス」を参照してください。</p> <p>例 Sample Supertracs Host.script は、Gentran:Server に付属するサンプル ホスト スクリプトです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 割り当てない場合は、そのまま次のステップに進みます。
41	ホストとして指定するすべてのメールボックスについて、 ステップ 30 から 40 を繰り返します。
42	[各種設定] タブを選択します。
43	<p>作成したメールボックスの既定のコンテンツ タイプ情報を入力するかどうかによって、次を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 入力する場合は、適切なコンテンツ タイプ情報を入力します。 <p>メモ この既定のコンテンツ タイプは、メールボックス レベルで上書きすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 入力しない場合は、そのまま次のステップに進みます。
44	<p>コミュニケーションズ ログが自動的に削除されるように設定するかどうかによって、次を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 設定する場合は、[通信ログを自動的に取り除く] チェックボックスをオンにします。コミュニケーションズ ログが削除されるまでの日数を選択します。コミュニケーションズ ログの削除が実行される時間を選択します。次のステップに進みます。 ▶ 設定しない場合は、そのまま次のステップに進みます。
45	<p>[OK] をクリックすると、このゲートウェイの構成が完了します。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ続く)</p>

(続き) ステップ	操作
46	<p>各コミュニケーションズ コントローラ上の Gentran:Server コミュニケーションズ サービスを停止します。</p> <p>参照 詳細については、この章の「コミュニケーションズ サービスの停止方法」を参照してください。</p>
47	<p>Gentran:Server メールボックス サービスを停止します。</p> <p>参照 詳細については、『コミュニケーションズ ユーザー ガイド』の「メールボックス サービスの停止方法」を参照してください。</p>
48	<p>Gentran:Server メールボックス サービスを再起動します。</p> <p>参照 詳細については、『コミュニケーションズ ユーザー ガイド』の「メールボックス サービスの停止方法」を参照してください。</p>
49	<p>各コミュニケーションズ コントローラ上の Gentran:Server コミュニケーションズ サービスを再起動します。</p> <p>参照 詳細については、本章の「コミュニケーションズ サービスの開始方法」を参照してください。</p> <p>これで、このゲートウェイで使用するメールボックスを作成する準備が整いました。</p>

コミュニケーションズ サービスの開始方法

はじめに

通常、プライマリ システム コントローラ上の Gentran:Server エグゼクティブ サービスを開始する際に、Gentran:Server コミュニケーションズ サービスを手動で開始する必要があります。Gentran:Server コミュニケーションズ サービスは、Gentran:Server メールボックス サービスに依存しています。

Gentran:Server コミュニケーションズ サービスを開始するには、Microsoft Windows コントロール パネルのサービス アプレットを使用します。

参照

詳細については、『コミュニケーションズ ユーザー ガイド』の「メールボックス サービスの開始方法」を参照してください。

手順

Gentran:Server コミュニケーションズ サービスを開始するには、次の手順に従います。

ステップ	操作
1	メールボックス サーバー マネージャを起動します。 システムからの応答 [サーバー マネージャ] ブラウザが表示されます。
2	[ゲートウェイ] フォルダから [Gentran:Server コミュニケーションズ] を選択します。
3	このゲートウェイのプロパティを変更するには、右クリックして [プロパティ] を選択します。 システムからの応答 [Gentran:Server コミュニケーションズ] ダイアログ ボックスが表示されます。
4	開始するコミュニケーションズ コントローラを選択して、[開始] をクリックします。 システムからの応答 選択したコミュニケーションズ コントローラによって、キュー内のメッセージの送受信が開始されます。
5	すべてのコミュニケーションズ コントローラについて、ステップ 4 を繰り返します。
6	[OK] をクリックします。

コミュニケーションズ サービスの停止方法

はじめに

Gentran:Server コミュニケーションズ サービスは、メールボックス サーバーとトレーディング パートナーとの間のコミュニケーションズ セッションを制御します。

Gentran:Server コミュニケーションズ サービスは、Gentran:Server メールボックス サービスに依存しています。Gentran:Server コミュニケーションズ サービスを停止するには、Microsoft Windows コントロール パネルのサービス アプレットを使用します。

参照

詳細については、『コミュニケーションズ ユーザー ガイド』の「メールボックス サービスの停止方法」を参照してください。

使用する場合

この手順は、共有デバイスに割り当てられている共有の種類を変更するときに使用します。

例

たとえば、「リモートのみ」として定義されている共有を「ホスト共有」になるように変更したいとします。この場合、その共有に割り当てられているモデムが着信呼に応答する前に、Gentran:Server コミュニケーションズ サービスをいったん停止して開始し直す必要があります。

手順

Gentran:Server コミュニケーションズ サービスを停止するには、次の手順に従います。

ステップ	操作
1	<p>メールボックス サーバー マネージャを起動します。</p> <p>システムからの応答 [サーバー マネージャ] ブラウザが表示されます。</p>
2	<p>[ゲートウェイ] フォルダから [Gentran:Server コミュニケーションズ] を選択します。</p>
3	<p>このゲートウェイのプロパティを変更するには、右クリックして [プロパティ] を選択します。</p> <p>システムからの応答 [Gentran:Server コミュニケーションズ] ダイアログ ボックスが表示されます。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ続く)</p>

(続き) ステップ	操作
4	停止するコミュニケーションズ コントローラを選択して、[停止] をクリックします。 システムからの応答 選択されているコミュニケーションズ コントローラを使用しているすべてのコミュニケーションが停止します。
5	すべてのコミュニケーションズ コントローラについて、ステップ 4 を繰り返します。
6	[OK] をクリックします。

アドバンスド データ ディストリビューション メールボックスの作成方法

はじめに

この項では、アドバンスド データ ディストリビューション メールボックスを作成する方法について説明します。

手順

アドバンスド データ ディストリビューション メールボックスを作成するには、次の手順に従います。

ステップ	操作	
1	メールボックス サーバー マネージャを起動します。 システムからの応答 メールボックスの [サーバー マネージャ] ブラウザが表示されます。	
2	[メールボックス] フォルダ アイコンを選択します。	
3	マウスを右クリックして、[作成] を選択します。 システムからの応答 [メールボックス作成ウィザード] が表示されます。	
4	作成するメールボックスの名前を入力し、[次へ] を 2 回クリックします。 システムからの応答 メールボックスを、ほかのメッセージング システムへのゲートウェイとして使用するかどうかを尋ねるダイアログが表示されます。	
5	次の表に従って、次に行う操作を決めます。	
	操作	選択する項目
	呼び出しを受信する	[いいえ、このメールボックスはゲートウェイではありません]
呼び出しを送受信する	[はい、このメールボックスはゲートウェイです] を選択し、この新しいメールボックスで使用するゲートウェイとして [Gentran:Server コミュニケーションズ] を選択します。 (次のページへ続く)	

(続き) ステップ	操作
6	<p>[次へ] をクリックします。</p> <p>システムからの応答 [メールボックスの作成ウィザード - 概要] ダイアログ ボックスが表示されます。</p>
7	<p>入力した情報が正しいかどうかによって、次を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">▶ 正しい場合は、[完了] をクリックします。▶ 正しくない場合は、[戻る] ボタンをクリックして情報を訂正します。 <p>メモ メールボックスを作成しようとしたときにデータ ストアが見つからない場合には、エラー メッセージ ボックスが生成され、メールボックスを作成できないことが通知されます。[OK] をクリックしてメッセージ ボックスを閉じ、[キャンセル] をクリックして [メールボックス作成ウィザード] を終了します。</p>
8	<p>ステップ 5 で、このメールボックスをゲートウェイとして使用するよう設定したかどうかによって、次を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">▶ 設定した場合は、[ゲートウェイプロパティ] ダイアログ ボックスが表示されます。次のステップに進みます。▶ 設定しなかった場合は、この手順は完了です。メールボックスの [サーバー マネージャ] ブラウザに戻ります。 <p style="text-align: right;">(次のページへ続く)</p>

(続き) ステップ	操作	
9	次の表に従って、次に行う操作を決めます。	
	使用するコミュニケーション	選択する項目
	非同期通信	[トランスポート] リストから [TAPI] を選択します。
	バイナリ同期通信	[トランスポート] リストから [BISYNC] を選択します。
	TCP/IP	[トランスポート] リストから [SOCKETS] を選択します。
	ファイル転送プロトコル	[トランスポート] リストから [FTP] を選択します。
	WS_FTP Pro ファイル転送プログラム メモ メッセージの転送にこのプロトコルを使用するには、WS_FTP プログラムをインストールする必要があります。	[トランスポート] リストから [WSFTP] を選択します。
	ISDN	[トランスポート] リストから [CAPI] を選択します。
	Eicon X.25 通信 メモ メッセージの転送にこのプロトコルを使用するには、Eicon X.25 のハードウェアおよびソフトウェアをインストールする必要があります。	[トランスポート] リストから [EICONX.25] を選択します。
10	[プロパティ] ボタンをクリックして、トランスポート プロパティを定義します。 システムからの応答 選択したトランスポートの種類のプロパティ ページが表示されます。	
11	必要に応じてフィールドに入力し、[OK] をクリックします。 (次のページへ続く)	

(続き) ステップ	操作
12	<p>[スクリプト] をクリックして、スクリプトと変数値を定義します。</p> <p>システムからの応答 [スクリプト] ダイアログ ボックスが表示されます。</p> <p>参照 Gentran:Server for Windows コミュニケーションズ サブシステムで使用できるスクリプト言語については、『スクリプト言語 リファレンス ガイド』の「スクリプト言語リファレンス」を参照してください。</p>
13	[新規作成] をクリックします。
14	<p>一意のスクリプト名を入力して、[OK] をクリックします。</p> <p>システムからの応答 Script Editor が表示されます。</p>
15	<p>[ファイル] メニューから [インポート] を選択します。</p> <p>システムからの応答 [スクリプトのインポート] ダイアログ ボックスが表示されます。</p>
16	<p>スクリプトを選択して、[開く] をクリックします。</p> <p>システムからの応答 スクリプト ファイルのコピーが Script editor に読み込まれます。</p>
17	<p>[ファイル] メニューから [コンパイル] を選択します。</p> <p>システムからの応答 新規スクリプトがコンパイルされます。エラーおよび警告なしでスクリプトがコンパイルされたことを示すダイアログ ボックスが表示されます。また、変更をファイルに保存するかどうかを尋ねるプロンプトも表示されます。</p> <p>メモ 1 コンパイル中にエラーが発生した場合は製品サポートにお問い合わせください。</p> <p>メモ 2 コンパイルされたスクリプトはメールボックスとともに格納されます。[CommScr] フォルダに格納されている元のスクリプト ファイルは変更されません。したがって、同じスクリプトの複数のコピーを用意して、このメールボックスで使用することができます。</p>
18	<p>[コンパイル] ダイアログ ボックスを閉じ、[はい] をクリックしてコンパイルされたスクリプトを保存します。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ続く)</p>

(続き) ステップ	操作
19	<p>[ファイル]メニューから [閉じる] を選択し、変更内容を保存するかどうかを尋ねるプロンプトが表示されたら、[はい] をクリックします。</p> <p>システムからの応答 [スクリプト]ダイアログ ボックスに戻ります。</p>
20	<p>定義する変数を選択して、値ボックスに適切な値を入力します。</p>
21	<p>このスクリプトのすべての変数の値を入力したかどうかによって、次を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ まだ入力していない場合は、すべての変数についてステップ 20 を繰り返します。[OK] をクリックして、[ゲートウェイプロパティ]ダイアログ ボックスに戻ります。 ▶ 既に入力している場合は、[OK] をクリックして、[ゲートウェイプロパティ]ダイアログ ボックスに戻ります。
22	<p>[既定値] をクリックして、このゲートウェイのメッセージ既定値を定義します。</p> <p>システムからの応答 [メッセージの既定値]ダイアログ ボックスが表示されます。</p>
23	<p>[このコンテンツ タイプをすべての添付に使う] ボックスに「Application/EDI」と入力します。</p>
24	<p>[このコンテンツ タイプをすべてのメッセージに使う] ボックスに「Application/EDI」と入力します。</p>
25	<p>[受信者の編集] をクリックします。</p> <p>システムからの応答 [受信者の編集]ダイアログ ボックスが表示されます。</p>
26	<p>受信したメッセージを Gentran:Server に転送するには、[Gentran Application] を選択して [To] をクリックします。</p>
27	<p>[OK] をクリックします。</p> <p>システムからの応答 [E メール アドレス]ダイアログ ボックスが表示されます。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ続く)</p>

(続き) ステップ	操作	
28	<p>E メールアドレスを指定するかどうかによって、次を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 指定する場合は、テキスト ボックスに情報を入力します。[追加]をクリックして、E メールアドレスを追加します。この受信者に追加するすべての E メールアドレスについて、この手順を繰り返します。[OK]をクリックし、[受信者の編集]ダイアログ ボックスに戻ります。[OK]をクリックします。 ▶ 指定しない場合は、[キャンセル]をクリックします。 <p>システムからの応答 [メッセージの既定値]ダイアログ ボックスに戻ります。</p>	
29	<p>[OK]をクリックします。</p> <p>システムからの応答 [ゲートウェイプロパティ]ダイアログ ボックスに戻ります。</p>	
30	<p>メッセージを自動送信するかどうかによって、次を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 自動送信する場合は、[自動送信]チェック ボックスをオンにします。必要な自動送信オプションを選択します。次のステップに進みます。 ▶ 自動送信しない場合は、そのまま次のステップに進みます。 	
31	<p>TRADANET を使用しているかどうかによって、次を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 使用している場合は、[TRADANET コマンドを有効にする]チェック ボックスをオンにします。使用するコマンドの種類を選択します。有効なオプションは[TSP]と[TIP]です。[構成]をクリックします。次のステップに進みます。 ▶ 使用していない場合は、[OK]をクリックして変更内容を保存し、[ゲートウェイプロパティ]ダイアログ ボックスを閉じます。 	
32	次の表に従って、次に進むステップを決めます。	
	選択した TRADANET コマンドの種類	次のステップ
	TSP	この項の「 TRADANET TSP プロパティの構成方法 」に進みます。
	TIP	この項の「 TRADANET TIP プロパティの構成方法 」に進みます。

**TRADANET TSP
プロパティの
構成方法**

TRADANET TSP プロパティを構成するには、次の手順に従います。

ステップ	操作
1	[TRADANET プロパティ - TSP コマンドの使用] ダイアログ ボックスから、使用する シンタックス を選択します。 推奨事項 ANA シンタックスを選択することをお勧めします。
2	[送信者] ボックスに EDI 番号 または ANA ユーザー ID を入力します。
3	[パスワード] ボックスに TRADANET ネットワーク パスワード を入力します。
4	新しいパスワードを入力するには、[新しいパスワード] ボックスに値を入力します。
5	LIST コマンドをいつ送信するかを、適切なリストから選択します。有効な値は次のとおりです。[Always]、[Never]、および [Once] です。
6	[DELF] タブを選択し、[DELF] ダイアログ ボックスに情報を入力します。 推奨事項 抽出されたファイルが削除されるまでの日数は、既定値で 3 日です。TRADANET ネットワークでは、5 日を経過したエントリに対しては、保管料がかかります。抽出されたファイルは、3 日経過時点で削除することをお勧めします。
7	[GO/NG] タブを選択し、[GO/NG] ダイアログ ボックスに情報を入力します。
8	[NEWREL] タブを選択し、[NEWREL] ダイアログ ボックスに情報を入力します。 メモ [NEWREL] ダイアログ ボックスは、TRADANET ネットワーク上で取引関係を作成または削除する場合にのみ使用します。
9	[追加] をクリックします。 システムからの応答 [NewRel - 追加] ダイアログ ボックスが表示されます。
10	[方向] を選択します。
11	[動作] を選択します。 (次のページへ続く)

ステップ	操作
12	[データ タイプ] を選択します。
13	[トレーディング パートナー] を選択します。
14	[OK] をクリックします。 システムからの応答 [TRADANET プロパティ] ダイアログ ボックスに戻ります。
15	[OK] をクリックして変更を保存し、[ゲートウェイ プロパティ] ダイアログ ボックスに戻ります。
16	[OK] をクリックして、[ゲートウェイ プロパティ] ダイアログ ボックスを閉じます。

TRADANET TIP プロパティの 構成方法

TRADANET TIP プロパティを構成するには、次の手順に従います。

ステップ	操作
1	[TRADANET プロパティ - TIP の使用] ダイアログ ボックスから、 [送信者 ID] ボックスに ANA ユーザー ID を入力します。
2	[パスワード] ボックスに TRADANET ネットワーク パスワード を入力します。 メモ パスワードは、入力中も表示されません。新しいパスワードを入力するには、[新しいパスワード] ボックスに値を入力します。
3	LIST コマンドをいつ送信するかを、適切なリストから選択します。有効な値は次のとおりです。[Always]、[Never]、および [Once] です。
4	[DELF] タブを選択し、[DELF] ダイアログ ボックスに情報を入力します。 推奨事項 抽出されたファイルが削除されるまでの日数は、既定値で 3 日です。TRADANET ネットワークでは、5 日を経過したエントリに対しては、保管料がかかります。抽出されたファイルは、3 日経過時点で削除することをお勧めします。
5	[GO] タブを選択し、[GO] ダイアログ ボックスに情報を入力します。 (次のページへ続く)

ステップ	操作
6	<p>[NEWREL] タブを選択し、[NEWREL] ダイアログ ボックスに情報を入力します。</p> <p>メモ [NEWREL] ダイアログ ボックスは、TRADANET ネットワーク上で取引関係を作成または削除する場合にのみ使用します。</p>
7	<p>[追加] をクリックします。</p> <p>システムからの応答 [NewRel - 追加] ダイアログ ボックスが表示されます。</p>
8	<p>[方向] を選択します。</p>
9	<p>[動作] を選択します。</p>
10	<p>[データ タイプ] を選択します。</p>
11	<p>[トレーディング パートナー] を選択します。</p>
12	<p>[OK] をクリックします。</p> <p>システムからの応答 [TRADANET プロパティ] ダイアログ ボックスに戻ります。</p>
13	<p>[OK] をクリックして変更内容を保存し、[ゲートウェイプロパティ] ダイアログ ボックスに戻ります。</p>
14	<p>[OK] をクリックして、[ゲートウェイプロパティ] ダイアログ ボックスを閉じます。</p>

サンプル セッション

はじめに

このサンプル セッションは、アドバンスド データ ディストリビューションをテストして、すべての項目が正しく構成されていることを確認するためのセッションです。

仮定事項

このサンプル セッションでは次を仮定しています。

- ▶ 2つのコミュニケーションズ コントローラを使用しており、それぞれにモデムが含まれている
- ▶ それぞれのモデムに別々の電話番号を用意している
- ▶ すべてのハードウェアを装着し、構成済みである
- ▶ Gentrans:Server がインストール済みであり、サンプル セッションでテストデータを使用できるようになっている

手順

アドバンスド データ ディストリビューションをテストするには、次の手順に従います。

ステップ	操作
1	<p>メールボックス サーバー マネージャを起動します。</p> <p>システムからの応答 メールボックスの [サーバー マネージャ] ブラウザが表示されます。</p>
2	<p>以下のプロパティに従って、システムへのダイヤル時に使用する新しいメールボックスを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ メールボックスに、「Dial IN」という名前を付けます。 ▶ E メールアドレスとして、「Dial_IN」を使用します。 ▶ このメールボックスでは、ゲートウェイは使用しません。 <p style="text-align: right;">(次のページへ続く)</p>

(続き) ステップ	操作
3	<p>次のプロパティに従って、Gentran:Server コミュニケーションズ ゲートウェイを構成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ [共有の種類]で[ホストのみ]を選択して新しい共有を作成します。 ▶ この新規共有に「Host Mode」という名前を付けます。 ▶ この共有に、2つのコミュニケーションズ コントローラのいずれかからデバイスを割り当てます。 ▶ 「Host Mode」という新しいスクリプトを作成して、Sample Pool Host.script ファイルをインポートします。 ▶ スクリプトをコンパイルして保存します。 ▶ [ホスト]タブで、Dial IN メールボックスの前にあるチェックボックスをクリックし、それをアドバンスド データ ディストリビューション メールボックスとして使用できるようにします。 ▶ ホストパスワードとして「host」と入力します。 ▶ 「Transmit」という新しいスクリプトを作成して、Sample Supertracs Host.script ファイルをインポートします。 ▶ スクリプトをコンパイルして保存します。 ▶ トレース オプションを選択して、コミュニケーションズ セッションの詳細記録をログ ファイルに保存するようにします。 ▶ [既定値]をクリックしてから [受信者の編集]をクリックし、Gentran:Application メールボックスを [To] 受信者リストに移動します。 ▶ 「リモートのみ」という共有の種類 を使って2つ目の共有を作成します。 ▶ この新しい共有に「Remote」という名前を付けます。 ▶ この共有に、2つのコミュニケーションズ コントローラの2番目からデバイスを割り当てます。 <p style="text-align: right;">(次のページへ続く)</p>

(続き) ステップ	操作
4	<p>次のプロパティに従って、Gentran:Server からのダイヤル時に使用する新しいメールボックスを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ メールボックスに「Dial OUT」という名前を付けます。 ▶ E メールアドレスとして、「Dial_OUT」を使用します。 ▶ このメールボックスを、Gentran:Server コミュニケーションズ ゲートウェイを使用するゲートウェイ メールボックスにします。 ▶ トランスポートの種類として [TAPI] を選択します ▶ [プロパティ] をクリックし、ステップ 3 で作成したリモート共有を選択します。 ▶ アドバンスド データ ディストリビューション共有と関連付けたデバイスの電話番号を入力します。 ▶ 「Remote Mode」という新規スクリプトを作成して、<i>Sample Remote.script</i> ファイルをインポートします。 ▶ MailboxID スクリプト変数として「Dial_IN」と入力します。 ▶ MailboxPassword スクリプト変数として「host」と入力します。 ▶ トレース オプションを選択して、コミュニケーションズ セッションの詳細記録をログ ファイルに保存するようにします。
5	<p>トレーディング パートナーを作成して、Dial OUT メールボックスを割り当てます。</p>
6	<p>Gentran:Server デスクから、伝送用のドキュメントを作成します。</p>
7	<p>Gentran:Server デスク上の電話をクリックし、コミュニケーションセッションを開始します。</p> <p>メモ Gentran コミュニケーションズの [ゲートウェイプロパティ] ダイアログ ボックスの [セッション] タブで、伝送の進捗状況を確認することができます。</p>
8	<p>Gentran:Server デスク上の [インドキュメント] または [? インドキュメント] アイテムをチェックします。</p>

メールボックス プロパティの修正方法

はじめに

この項では、[メールボックス作成ウィザード]を使用して作成されたメールボックスのプロパティを修正する方法を説明します。

手順

メールボックス プロパティを修正するには、次の手順に従います。

ステップ	操作	
1	メールボックス サーバー マネージャを起動します。	
2	[メールボックス]フォルダを展開します。	
3	プロパティを追加または修正するメールボックスを選択します。	
4	右クリックして、ショートカット メニューから[プロパティ]を選択します。 システムからの応答 [メールボックス プロパティ]ダイアログ ボックスが表示されます。	
5	次の表に従って、次に行う操作を決めます。	
	修正内容	選択するタブ
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 名前 ▶ GENTRAN E メール アドレス 	[アドレス入力]
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ゲートウェイプロパティ ▶ 構成プロパティ 	[ゲートウェイ]
	配送ルール	[配送ルール]
	ユーザーのセキュリティ権限	[セキュリティ]
6	必要な修正を加えて[OK]をクリックし、変更を保存し、ダイアログ ボックスを閉じます。	

エラー メッセージ

目次

▶ 概要	2
▶ アドバンスド データ ディストリビューションのメッセージ	3

概要

この付録の内容

この付録では、ゲートウェイで生成されるメッセージについて説明します。メールボックス サーバー マネージャを通してコミュニケーションズ サブシステムを操作する場合、メッセージはユーザー インターフェイスを介して対話式で表示されます。

アドバンスド データ ディストリビューションの メッセージ

はじめに

このトピックでは、アドバンスド データ ディストリビューションを使用したコミュニケーションズ ゲートウェイによってオーディット ログに書き込まれるエラー メッセージについて説明します。

参照

構成手順の詳細については、本書の「[コミュニケーションズの構成](#)」の章を参照してください。

メッセージ

次の表では、ゲートウェイに関連するエラー メッセージを説明します。

メッセージ ID	メッセージ テキスト	説明と処置
5	StartServiceCtrlDispatcher が失敗しました:[数字のエラー コード][エラー メッセージの説明]	<p>説明 このエラーは、サービスの開始に失敗した場合に発生します。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
8	OpenSCManager が失敗しました:[数字のエラー コード][エラー メッセージの説明]	<p>説明 このエラーは、インストールまたは削除サービス コマンド ライン機能を実行する際に、サービス コントロール マネージャを起動できない場合に発生します。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
9	GetModuleFileName が失敗しました:[数字のエラー コード][エラー メッセージの説明]	<p>説明 このエラーは、インストールまたは削除サービス コマンド ライン機能を実行するために、モジュール名を取得しようとした際に発生します。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ続く)</p>

(続き) メッセージ ID	メッセージ テキスト	説明と処置
10	CreateService [サービス名] が失敗しました : [数字のエラーコード] [エラー メッセージの説明]	<p>説明 このエラーは、インストールサービス コマンド ライン機能を実行するために、CreateService 関数が呼び出された際に発生します。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
11	CLAPIInitialise が失敗しました	<p>説明 Gentran:Server システムとの通信に使用する CLAPI インターフェイスの初期化に失敗しました。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
12	OpenService [サービス名] が失敗しました : [数字のエラーコード] [エラー メッセージの説明]	<p>説明 このエラーは、削除サービス コマンド ライン機能を実行するために、OpenService 関数が呼び出された際に発生します。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
13	DeleteService [サービス名] が失敗しました : [数字のエラーコード] [エラー メッセージの説明]	<p>説明 このエラーは、削除サービス コマンド ライン機能を実行するために、DeleteService 関数が呼び出された際に発生します。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ続く)</p>

(続き) メッセージ ID	メッセージ テキスト	説明と処置
15	RegisterServiceCtrlHandler が失敗しました:[数字のエラーコード][エラーメッセージの説明]	<p>説明 このエラーは、サービスコントロールハンドラを登録するための呼び出しがサービスメイン内で失敗した場合に発生します。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
16	RPC がプライマリ コントローラに接続できませんでした	<p>説明 このエラーは、プライマリ コントローラへの RPC 接続が確立できなかった場合に発生します。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
18	Gentran:Server コミュニケーションズには、Windows Version 4.0 (Build 1381) 以上が必要です	<p>説明 互換性のないバージョンの Windows が検出されました。</p> <p>処置 Windows 4.0 (Build 1381) 以上または最新のサービス パックをインストールするか、アップグレードします。</p>
50000	[メールボックス機能] がコード [エラーコード番号] の [エラーの原因となるコードの行] 行目で失敗しました	<p>説明 このメッセージは、メールボックスの呼び出しが失敗した際の一般的なエラー メッセージです。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
50001	CArchive 例外が [エラーの原因となるコードの行] 行目で発生しました	<p>説明 このメッセージは、CArchive 例外が発生した際の一般的なエラー メッセージです。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ続く)</p>

(続き) メッセージ ID	メッセージ テキスト	説明と処置
50002	RpcServerUseProtseqEp (名前付けパイプ) が [エラーの原因となるコードの行] 行目で失敗しました : [RPC エラー]	<p>説明 このメッセージは、RPC サーバーの呼び出しが失敗した際の一般的なエラー メッセージです。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
50003	RpcServerUseProtseqEp (ローカル) が [エラーの原因となった行の番号] 行目で失敗しました : [RPC エラー]	<p>説明 このメッセージは、RPC サーバーの呼び出しが失敗した際の一般的なエラー メッセージです。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
50004	RpcServerInqBindings が [エラーの原因となるコードの行] 行目で失敗しました : [RPC エラー]	<p>説明 このメッセージは、RPC サーバーの呼び出しが失敗した際の一般的なエラー メッセージです。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
50005	UuidFromString が [エラーの原因となるコードの行] 行目で失敗しました : [RPC エラー]	<p>説明 このメッセージは、RPC サーバーの呼び出しが失敗した際の一般的なエラー メッセージです。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
50006	RpcEpRegister が [エラーの原因となるコードの行] 行目で失敗しました : [RPC エラー]	<p>説明 このメッセージは、RPC サーバーの呼び出しが失敗した際の一般的なエラー メッセージです。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ続く)</p>

(続き) メッセージ ID	メッセージ テキスト	説明と処置
50007	RpcBindingVectorFree が [エラーの原因となるコードの行] 行目で失敗しました : [RPC エラー]	<p>説明 このメッセージは、RPC サーバーの呼び出しが失敗した際の一般的なエラー メッセージです。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
50008	RpcServerRegisterIf が [エラーの原因となるコードの行] 行目で失敗しました : [RPC エラー]	<p>説明 このメッセージは、RPC サーバーの呼び出しが失敗した際の一般的なエラー メッセージです。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
50009	RpcStringBindingCompose が [エラーの原因となるコードの行] 行目で失敗しました : [RPC エラー]	<p>説明 このメッセージは、RPC サーバーの呼び出しが失敗した際の一般的なエラー メッセージです。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
50010	RpcBindingFromStringBinding が [エラーの原因となるコードの行] 行目で失敗しました : [RPC エラー]	<p>説明 このメッセージは、RPC サーバーの呼び出しが失敗した際の一般的なエラー メッセージです。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
50011	RpcException が [エラーの原因となるコードの行] 行目で発生しました : [RPC エラー]	<p>説明 このメッセージは、RPC サーバーの呼び出しが失敗した際の一般的なエラー メッセージです。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ続く)</p>

(続き) メッセージ ID	メッセージ テキスト	説明と処置
50012	共有デバイスのバージョンが無効です	<p>説明 このエラーは、共有デバイス情報のバージョンと、実行しているソフトウェアのバージョンとの互換性がない場合に発生します。</p> <p>処置 共有デバイスを削除して、作成し直します。</p>
50013	CreateThread [スレッド名] が [エラーの原因となるコードの行] 行目で失敗しました : [数字のエラーコード] [エラーメッセージの説明]	<p>説明 このメッセージは、CreateThread 関数の呼び出しが失敗した際の一般的なエラーメッセージです。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
50014	CreateEvent [イベント名] が [エラーの原因となるコードの行] 行目で失敗しました : [数字のエラーコード] [エラーメッセージの説明]	<p>説明 このメッセージは、CreateEvent 関数の呼び出しが失敗した際の一般的なエラーメッセージです。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
50015	SetCurrentDirectory [ディレクトリ名] が [エラーの原因となるコードの行] 行目で失敗しました : [数字のエラーコード] [エラーメッセージの説明]	<p>説明 このメッセージは、SetCurrentDirectory 関数の呼び出しが失敗した際の一般的なエラーメッセージです。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p> <p style="text-align: right;">(次のページへ続く)</p>

(続き) メッセージ ID	メッセージ テキスト	説明と処置
50016	CreateFile [ファイル名] が [エラーの原因となるコードの行] 行目で失敗しました : [数字のエラーコード] [エラーメッセージの説明]	<p>説明 このメッセージは、CreateFile 関数の呼び出しが失敗した際の一般的なエラー メッセージです。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
50017	ReadFile [ファイル名] が [エラーの原因となるコードの行] 行目で失敗しました : [数字のエラーコード] [エラーメッセージの説明]	<p>説明 このメッセージは、ReadFile 関数の呼び出しが失敗した際の一般的なエラー メッセージです。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
50018	WaitForObject が [エラーの原因となるコードの行] 行目で失敗しました : [数字のエラーコード] [エラーメッセージの説明]	<p>説明 このメッセージは、WaitForObject 関数の呼び出しが失敗した際の一般的なエラー メッセージです。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
50019	RpcMgmtIsServerListening が [エラーの原因となるコードの行] 行目で失敗しました : [RPC エラー]	<p>説明 このメッセージは、RPC サーバーの呼び出しが失敗した際の一般的なエラー メッセージです。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>
50020	RpcServerUnregisterIf が [エラーの原因となるコードの行] 行目で失敗しました : [RPC エラー]	<p>説明 このメッセージは、RPC サーバーの呼び出しが失敗した際の一般的なエラー メッセージです。</p> <p>処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。</p>

(続き) メッセージ ID	メッセージ テキスト	説明と処置
50021	RpcEpUnregister が [エラーの原因となるコードの行] 行目で失敗しました : [RPC エラー]	説明 このメッセージは、RPC サーバーの呼び出しが失敗した際の一般的なエラー メッセージです。 処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。
50022	RpcMgmtStopServerListening が [エラーの原因となるコードの行] 行目で失敗しました : [RPC エラー]	説明 このメッセージは、RPC サーバーの呼び出しが失敗した際の一般的なエラー メッセージです。 処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。
50023	RpcServerListen が [エラーの原因となるコードの行] 行目で失敗しました : [RPC エラー]	説明 このメッセージは、RPC サーバーの呼び出しが失敗した際の一般的なエラー メッセージです。 処置 カスタマ サポートにお問い合わせください。

OFTP の操作

目次

▶ 概要	2
▶ SSID および SFID コマンドの定義	3
▶ パートナーの定義の作成方法 (OFTP リモート VAN ユーザー)	6
▶ 仮想ファイル名およびデータ形式の定義	8

概要

はじめに

このトピックでは、OFTP (Odette ファイル転送プロトコル) を使用する場合に必要となる操作について説明します。

SSID および SFID コマンドの定義

はじめに

OFTP プロトコルでは、OFTP コミュニケーションセッション中のデータの流れを、SSID および SFID コマンドを使用して制御します。これらのコマンドは、コミュニケーションセッションの開始時に、メールボックスサーバーによって動的に作成されます。SSID および SFID コマンドは、コミュニケーションズスクリプトに割り当てられた値を使用して作成されます。

スクリプト変数

OFTP プロトコルでトレーディングパートナーにデータを送信するには、コミュニケーションズゲートウェイメールボックスの作成時に、次のスクリプト変数に値を割り当てる必要があります。

- ▶ 送信者の OFTP ID — 送信者の OFTP コード (SSID)
- ▶ 送信者の OFTP パスワード
- ▶ パスワードを変更する場合は、送信者の新しい OFTP パスワード

OFTP サーバーとのコミュニケーションセッションをトレーディングパートナーが開始できるようにするには、アドバンスドデータディストリビューション用のコミュニケーションズゲートウェイの構成時に、次のスクリプト変数に値を割り当てる必要があります。

- ▶ ホストの SSID コード
- ▶ ホストの SSID パスワード

サンプルの OFTP Remote.script

OFTP Remote.script は、OFTP プロトコルでデータを送受信する際に使用できるサンプルスクリプトです。

このスクリプトは、Gentran:Server のインストール時にインストールされます。既定のファイル格納場所は、GENSRVNT¥CommScr¥Samples です。

(次のページへ続く)

スクリプト例

次に、Gentran:Server とともにインストールされるサンプルの OFTP Remote.script の例を示します。

```
// サンプル OFTP リモート スクリプト

// ユーザーが編集可能な変数の定義

scriptvar string[10] MailboxID;

scriptvar string[10] MailboxPassword;

string[80] LogonCard;

LogonCard = "LOGON MBX=" + MailboxID + " PSW=" + MailboxPassword
+ "^0D";

// ログオン プロシージャ

AsciiSndCtl(LogonCard);

AsciiRcvCtl("IODETTTE FTP READY ^0D");

OftpRemote("OFTPID", "OFTP PSW", "");

SetStatus(SUCCESS);
```

OFTPID = 送信者の OFTP
コード (SSID)

OFTP PSW = 送信者の OFTP
パスワード

サンプルの OFTP
Host.script

OFTP Host.script は、トレーディング パートナーが OFTP サーバーとのコミュニケーション セッションを開始した際に、アドバンスド データ ディストリビューション機能の実行に使用するサンプル スクリプトです。このコマンドにより、メールボックス タイプのコマンドを指定しなくても、どのような種類のセッションが要求されたかに応じてすべての送受信を制御できます。

OFTP Host.script は、Gentran:Server のインストール時にインストールされます。既定のファイル格納場所は、GENSRVNT¥CommScr¥Samples です。

(次のページへ続く)

スクリプト例

以下に、Gentran:Server とともにインストールされるサンプルの OFTP host.script の例を示します。

```
// サンプル OFTP ホスト スクリプト
```

```
AsciiSndCtl("IODETTE FTP READY ^0D");  
OftpHost("SAMPLE ODETTE FTP HOST", "OFTP PSW", "");  
SetStatus(SUCCESS);
```

Sample ODETTE FTP Host = ホストの OFTP
(SSID) コード

OFTP PSW = ホストの OFTP
(SSID) パスワード

関連トピック

これらのスクリプトの詳細については、『スクリプト言語リファレンスガイド』の「スクリプト言語リファレンス」の章にある「**OftpHost**」および「**OftpRemote**」を参照してください。

パートナーの定義の作成方法 (OFTP リモート VAN ユーザー)

はじめに

このトピックでは、OFTP プロトコルでデータを送信する際に使用する、新しいパートナーの定義の作成方法を説明します。

OFTP プロトコルでデータを送信する際は、Gentran:Server パートナーの定義内の E メールアドレスの中に、受信者の OFTP ID (SFID と呼ぶ) を定義する必要があります。

参照

新しいパートナーの定義の作成についての詳細は、Gentran:Server for Windows オンライン ヘルプの「パートナー エディタ」を参照してください。

始める前に

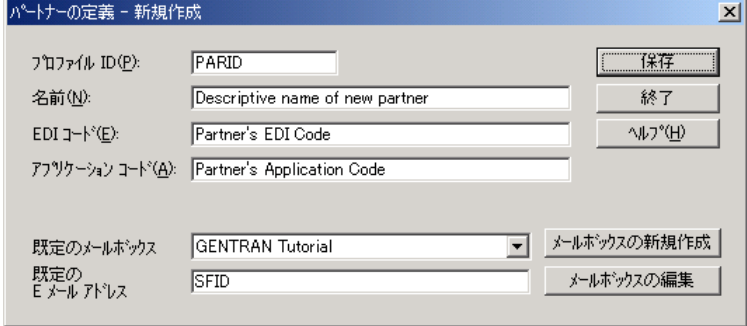
下記の手順を実行する前に、次の情報を確認してください。

- ▶ トレーディング パートナーの OFTP SFID。一般的には、トレーディング パートナーのメールボックス ID が使用されます。
- ▶ トレーディング パートナーのアプリケーション コード。

手順

OFTP で使用する新しいパートナーの定義を作成するには、次の手順に従います。

ステップ	操作
1	Gentran:Server で、デスクの適切な領域から [パートナー] を選択します。 システムからの応答 [パートナー エディタ] ダイアログ ボックスが表示されます。
2	[新規作成] をクリックします。 (次のページへ続く)

ステップ	操作
3	<p>次の情報を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ [プロファイル ID]: トレーディング パートナーの内部システム識別情報を入力します。 ▶ [名前]: Gentran:Server のパートナー エディタでトレーディング パートナーの識別に使用する名前を入力します。 ▶ [EDI コード]: トレーディング パートナーの EDI コード (SFID) を入力します。 ▶ [アプリケーション コード]: トレーディング パートナーのアプリケーション コード (アウトバウンド) を入力します。 ▶ [メールボックス]: ドロップダウン リストから、適切なメールボックス サーバーのメールボックスを選択します。 ▶ [E メール アドレス]: トレーディング パートナーの SFID コードを入力します。 <p>システムからの応答 [パートナーの定義 - 新規作成] ダイアログ ボックスは、次の図のようになります。</p> 
4	[保存] をクリックします。
5	[終了] をクリックしてダイアログ ボックスを閉じます。

仮想ファイル名およびデータ形式の定義

はじめに

メッセージ添付のコンテンツ タイプの用途には以下があります。

- ▶ リモート OFTP コンピュータで作成された OFTP ファイル名を上書きする
- ▶ データ形式を定義する

手順

仮想ファイル名またはデータ形式を定義するには、次の手順に従います。

ステップ	操作
1	[デスク]から[パートナー]を選択します。 システムからの応答 [パートナー エディタ]ダイアログ ボックスが表示されます。
2	パートナーを選択し、[アウトバウンド]をクリックします。
3	[関係の説明]ドロップダウン リストから、アウトバウンド関係を選択します。
4	[インターチェンジ]をクリックします。
5	アウトバウンド インターチェンジを選択して、[編集]をクリックします。 システムからの応答 [アウトバウンド インターチェンジ登録]ダイアログ ボックスが表示されます。
6	[詳細]をクリックします。 (次のページへ続く)

(続き) ステップ	操作
7	<p>ファイル名を上書きするには、[コンテンツ タイプ] ボックスに「FileName_xx」と入力します。</p> <p>ここで、xx にはリモート OFTP コンピュータに作成するファイル名を指定します。</p> <p>データ形式を指定するには、[コンテンツ タイプ] ボックスに「DataFormat_xx」と入力します。</p> <p>ここで、xx にはデータ形式を指定します。</p> <p>両方を指定する場合は、「FileName_xx/DataFormat_xx」と入力します。</p> <p>メモ [コンテンツ タイプ] フィールドの値は、「コンテンツ タイプ / コンテンツ サブ タイプ」の形式で指定します。[コンテンツ タイプ] の値は必ず入力する必要があり、その最後に常にスラッシュ (/) を付けます。[サブ コンテンツ タイプ] の値を指定する場合は、[コンテンツ タイプ] とスラッシュ (/) の後に入力します。</p> <p>例 FileName_out161/ または DataFormat_v/FileName_xx</p>
8	[保存] をクリックして、[Outbound Interchange Select] ダイアログボックスに戻ります。
9	[終了] をクリックして、[アウトバウンド関係] ダイアログボックスに戻ります。
10	[保存] をクリックします。
11	[終了] を 2 回クリックして [デスク] に戻ります。

